



# せんがわ 21

「実篤と新しき村、仙川フォーラム2018  
新しき村創設100周年特集号

創業昭和二十二年

# そば処 幡乃屋



仙川商店街通り中央 ☎ 3300-3715



## 武蔵野開発株式会社 武蔵野ハウジング株式会社 株式会社後迫測量設計事務所

測量士・一級土木施工管理士・土地家屋調査士・一級造園施工管理技士

代表取締役 後迫 巖 専務取締役 後迫 武

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-12 武蔵野ビル Tel.03-3308-1277(代) Fax.03-3309-9121

地元で愛され60年

# サトウデンキ



1957年創業



2015年店舗改築へ



2016年新装開店

仙川商店街通り中央 ☎ 03-3300-5016 [http://www.sengawa.com/satodenki\\_sengawa/](http://www.sengawa.com/satodenki_sengawa/)

フェリカ  
**FELICA**  
INTERIOR

輸入商品  
ペルシャ絨毯・陶器・ハワイキルト  
室内装飾&リフォーム  
オーダーカーテン・パンジー室内履き  
仙川町1-10-4 第二伊藤ビル1F  
TEL 03-3305-0028

こだわりの  
ヨーロッパビールが飲める店



03-3309-8439  
毎週(日)、第1・3(月)定休  
14:00~24:00

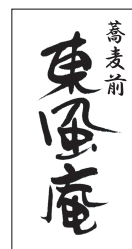
調布市仙川町 1-12-1

35年目のアジグループ

インポートセレクトショップ



03-3308-7264  
毎週(水)、第1・3(火)定休  
<http://www.azi.ne.jp>



酒と  
本格手打ちそば

03-3307-8000  
調布市仙川町1丁目8-3  
毎週(月)、第1・3(火)定休  
teiko@kochian.jp

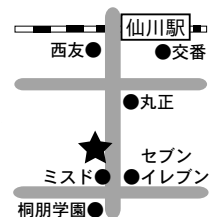


☎ 03-3300-5655  
FAX 03-3300-8093  
営業時間 11:45~14:00  
17:30~  
定休日 不定休

活  
ろなぎ

四季折々の旬菜や活魚を  
生かした逸品から  
ボリューム感のある料理まで。  
素材を吟味し、持ち味を  
引き出す三進のお料理。  
ご家族や職場の皆様  
お揃いでご賞味下さい。

★大小宴会  
ご予約承ります!



**Saint Bernard**  
Swiss Restaurant

どこでも愛犬と一緒に

犬は家族の一員であることはもちろん、社会の一員なのです。  
ぜひ愛犬と一緒にご来店ください。  
ワンちゃんメニューも、豊富にそろえております。

Lunch 11:00~15:00 (L.O.14:30)  
Café 11:00~17:00  
Dinner 17:00~22:00 (L.O.21:30) 定休日:水曜日

仙川町1-13-23 LUNA SENGAWA 1F Tel.03-5315-5377 <https://saintbernard.tokyo/>

地域に根ざした空間を目指して。  
株式会社グローバル設計



調布市仙川町 1-15-47 ひなたビル  
TEL : 03-3300-0081





© アイロード



創設期の人々 (1919.6)



# 日向 新しき村

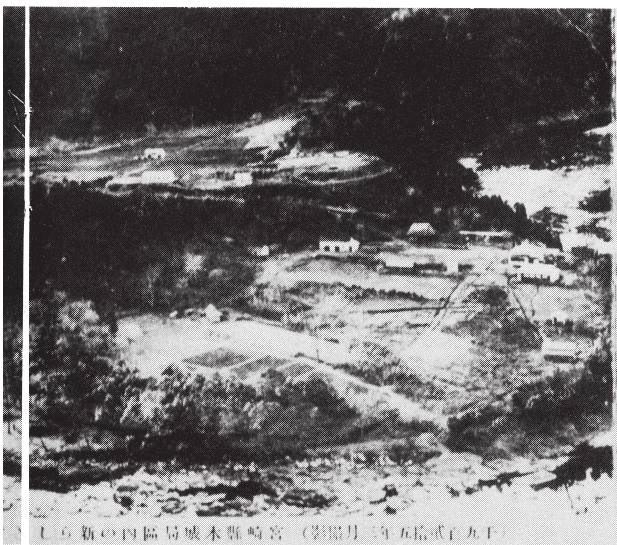


中央が実篤



畑の労働  
(1925.3)

# むかし

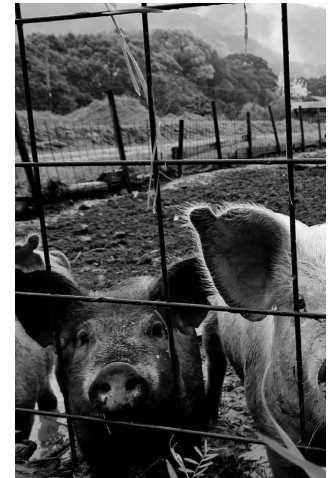


き村実篤記念館

新しき村

小丸川

石河内の集落

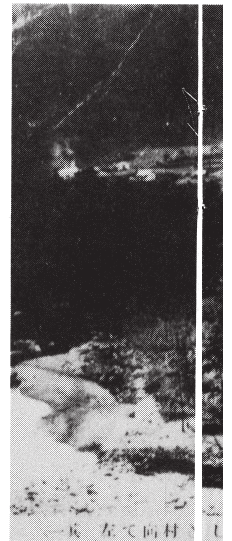


© アイロード



# いま

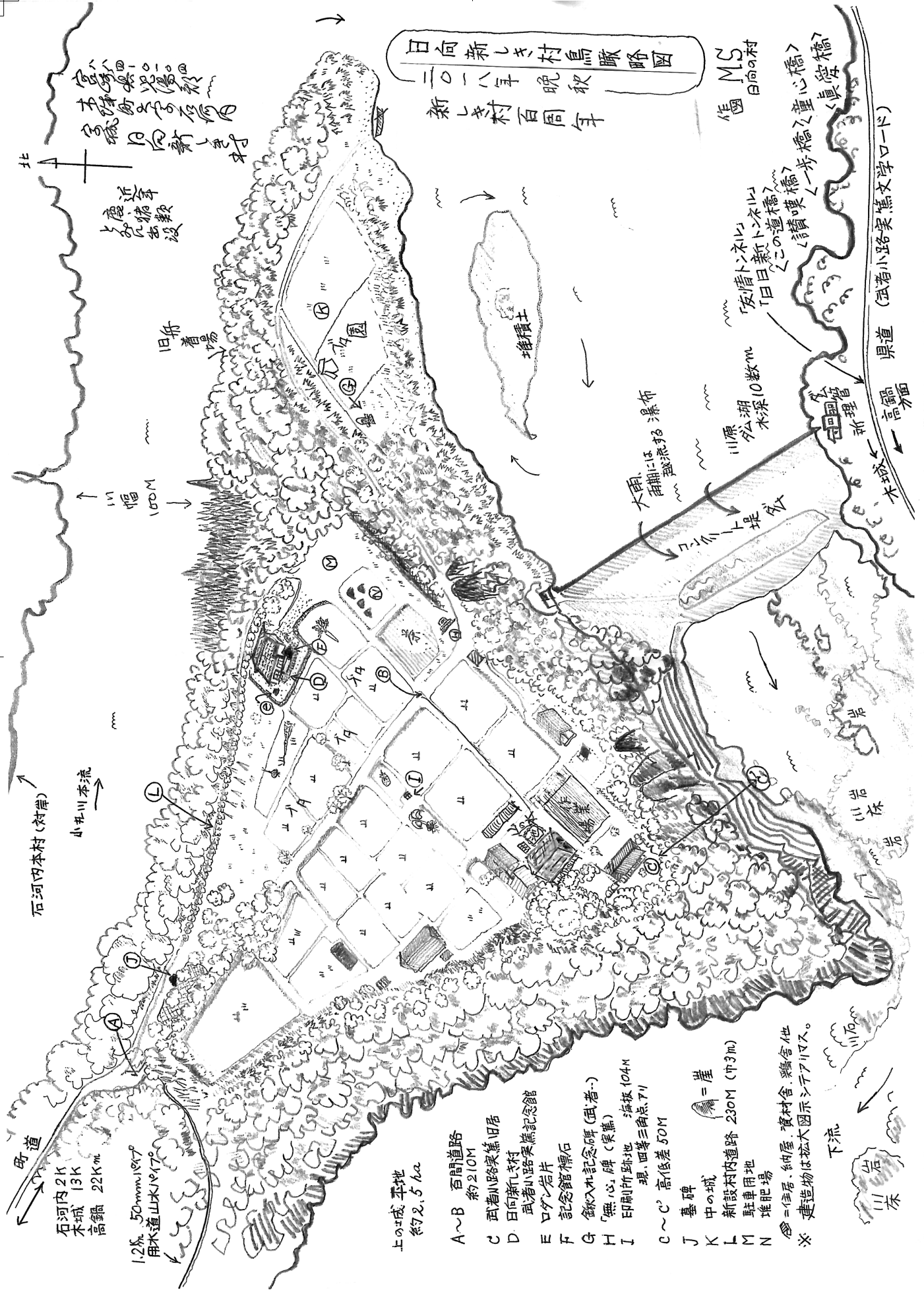
全景 (1925.3)



写真提供 新しき村誌



日向新しき村鳥瞰略図  
二〇一八年 晩秋  
新しき村百周年



宮小  
木城  
高鍋  
日向新しき村  
石河内本村(対岸)  
小形川本流

近  
唐  
と  
の  
名  
に  
類  
を  
設  
け  
て  
お  
く

旧舟着場

幅 100M

石河内本村(対岸)

小形川本流

所道  
石河内 2K  
木城 13K  
高鍋 22K m

1.2% 50mm/s<sup>187</sup>  
用水道 山本<sup>187</sup>

上の成平地  
約2.5ha

A~B 百間道路  
約210M

C 武者小路築熹旧居

D 日向新しき村  
武者小路築熹記念館

E ログ・岩片  
記念館標石

G 鉄丸記念碑(武者)

H 「無心」碑(築熹)

I 印刷所跡地 海拔104M  
理、四等三角点71

C~C' 高低差50M

J 墓碑

K 中の城

L 新設村内道路 230M (巾3m)

M 駐車用地

N 堆肥場

※ 住居、納屋、資料倉、糞舎他  
建造物は松大図示シテアリマス。

MS 日向の村

「友盾トネル」  
「日向新しき村」  
この道橋く一歩橋く産心橋く

山原 水深10数m

大雨、  
雨期には  
溢流殆ど  
瀑布

木城

新理

高鍋

県道 (武者小路築熹文学ロード)

木城

高鍋

山原

山原

山原

山原

山原

# 美しき 新しき 村と街 若き人たちへ

武者小路 知行

祖父実篤が、日向（宮崎県）の山間の地に彼の理想となる「新しき村」を開村してから、今年で百周年を迎えることができました。

一口に百年といっても、日本社会では第二次世界大戦を境に、戦前・戦中・戦後と大きな変化がありましたし、「新しき村」自体も日向から埼玉県入間郡の毛呂山に主体が移るなどいろいろな変化を体験してきました。

現在では、戦前・戦中の「新しき村」で直接生活し、それを伝えてくれる人もいなくなり、書物等から知るしかなくなりました。「新しき村」の理想やその背景となる思想の本質は変わることなく続いているのです。そして現在のこういう時代だからこそ、若い人達に「新しき村」の歴史や思想を学んで、是非知ってもらいたいと思っています。さらにその中から、「新しき村」の思想に共鳴し「新しき村」の運動に参加してみたいと考える若者が出てくれたら幸いです。

さて、話は変わりますが、祖父実篤が「水のある所に住みたい」という長年の夢を叶えるために選び、仙川の地に移って来たのはち

ょうど調布が市制を施行した、1955年のことになりました。当時は、現在のおしゃれな街並からは想像できないとは思いますが、仙川の駅の近くにも畑や雑木林があり、いわゆる武蔵野の地でした。桐朋学園や白百合女子大学はあったものの、およそ学生の街とはいえないところでした。

仙川の街はこれからもさらに変わってゆくことと思いますが、古いものにも良いものは沢山あるのです。すでにご承知の方も多いかと思いますが、実篤公園内にある旧実篤邸が、今夏戦後の和風建築の代表作として国の登録有形文化財に答申されました。正式登録はこれからなると思われませんが、実篤の遺族としては大変嬉しく思っております。

先日の台風24号の強風により、実篤公園でも八重桜の木が根本から倒れたり、倒木や大きな枝が折れたり、かなりの被害がありました。幸い建物そのものにはとりたてて被害はありませんでした。

是非これを機会に旧実篤邸や実篤公園さらに武者小路実篤記念館を訪れて、実篤の作品



や生活に思いを馳せてほしいと願っています。登録有形文化財への答申が、ちょうど「新しき村」創立百周年と重なったことは偶然とはいえ、何かしらの縁を感じるのは私だけでしょうか。

武者小路実篤記念館では、「新しき村」創立百周年を記念しての展示「新しき村の百年」の他に、調布市文化会館たづくりでの展示「新しき村の美術展」を始め、映像資料の上映会、文学講座「新しき村百年と武者小路実篤」等が開催されます。「古きを訪ねて新しきを知る」という言葉もあります。これを機に若い人たちにもこれからの村や街のありかたを考える切っ掛けにしたいだけだと思います。（武者小路実篤記念館理事長）



いつでも、どこでも、24時間年中無休であなたをお待ちしています。

### セブン-イレブン 調布仙川店

甲州街道沿い 仙川駅入口

東京都調布市仙川町 3-2-1

電話 03-3305-0711

# 〒 調布仙川郵便局

※調布市市民課の印鑑証明書・住民票・戸籍謄抄本の交付 TEL:03-3300-3001 FAX:03-3300-8317



あの街、この街、みなさんのしばしんです。

- 地元のおひとりおひとりとの長いおつきあいをたいせつに、  
明るい窓口でご奉仕を——これがしばしんの合言葉です。

しあわせ、一步一步

## 芝信用金庫

仙川支店 ☎03-3308-8171  
182-0002 調布市仙川町2-21-10

日本テレビ・週刊文春にて紹介されました

味の店

## どんかつ仙川

各種宴会40名様迄御相談下さい

仙川駅前

☎ 3309-0144

味の店

11時~15時 / 17時~23時

伝統が生んだこだわりの味

## 一富士



京王線仙川駅前  
(ホーム上)

金曜日定休  
でんわ 3309-5510  
イトン

魚貝料理と釜めし



## なみはな

営業時間 AM 11:30~PM 2:00 (ランチタイム)  
PM 5:00~PM 11:30

仙川町 1-4-28

☎ 3307-9854

いわし料理・天ぷら  
うな重・なべもの

## こしじ

ご宴会 25名様まで

03-3308-9457

中華料理

## 萬來軒

ご宴会 30名様まで

03-3308-9288

仙川駅改札口東側線路沿い

# せんがわ・21

〘実篤と新しき村、仙川フォーラム 2018  
新しき村創設 100 周年特集号

■口絵	いま／むかし 日向新しき村		
□巻頭言	美しき 新しき 村と街～若き人たちへ	武者小路 知行	1
■特集	新しき村 100 周年		4
□仙川町というトポス（場）		前田速夫	4
□白樺派の時計—地域連繋の新しい形		玉川上水学術自由学芸七科研究所 松尾欣治	5
□「新しき村」の活性化のために 『実篤かぼちゃ』を創る		むらまちづくりコーディネーター 山口道朗	7
□桐朋学園芸術短期大学 in せんがわ		安宅りさ子	8
□コミュニティ・ガーデンのフード文化		白百合女子大学文学部准教授 アン マクナイト	9
□手軽に自然と触れ合ってもらおう機会を作りたい		山内ぶどう園 園主 山内美香	10
□新しき街づくり		仙川青友会会長 齊藤誠一	12
□新しき 〘街、そして 〘交流、		仙川商店街協同組合 理事長 川原慎一（神代書店）	12
□仙川半世紀～桐朋育ちの記	桐朋女子中・高等学校 校長 千葉裕子		13
□アトリエ長杉荘（ちょうさんそう）について		彫刻家 滝 廉太郎	15
□馬鹿—という、あこがれ		末永明彦	16
□「新しき村」百年前に見た夢		作家 関川夏央	23
□ルワーバンCC（ゆいまーる）～共同小社会を広げる		岡本健次郎	24
□コミュニティから「新しき村」（実篤コミュニティ）への回帰を		日本地域開発センター 北川泰三	25
□「人生 100 年時代」の「場」		多摩大学大学院教授 今泉 忠	26
□六道		北畑光男	27
□実篤さんと仙川と新しき街づくり		青野友太郎	27
■ザ・仙川芸術監督		うずめ劇場 山本太朗	30
■劇団グスタフ～芸術・文化の創造と国際交流拠点		演出家 抱 晴彦	31
■私の履歴書 仙川に住んで PTAから市長選まで		前橋 弘子	32
■サンディエゴでの体験をエキスにして		ジュン・イナガワ	33
■坂の名称の訂正と豆知識		大村哲夫	35
□ショッピングモール			37
□まちニティショップカタログ			38
□編集・制作スタッフ 人財・カンパ大募集			39
□編集室 編集後記 奥付			40
■グラビア	ジュン・イナガワの世界／いま・むかし 新しき村（毛呂山）		

表紙写真：せんがわ劇場 10 周年コンサート 金管楽器五重奏（桐朋学園大学の学生）  
平成 30 年 6 月 9 日仙川駅前にて。

# 周年

武者小路実篤と有志たちが 1928 年 11 月、宮崎県木城村城に創設した「新しき村」が本年 100 周年を迎えた。30 年前の 70 周年の折に仙川の地で、多彩なイベントが実施された。本年も記念シンポ（19 ページ参照）を開催する。午前中は、実篤公園散策と記念館見学をされた後に、本誌とともに参画されたい！

## 仙川町というトポス（場）

前田速夫

仙川とは、昭和四十三年以来のおつきあいだ。といっても、当時は駅を降りてすぐの商店街を右に折れて畑の中の道を進み、途中で左折して自動車道を横切り、桐朋学園の西端に沿った曲り道を5分ほど、突き当りの門を入って急坂を下り、母屋の玄関前に入る、そのことの繰り返しだった。

お屋敷の主は、武者小路実篤。もう八十歳を超えていた。私の両親がたまたま「新しき村」の村外会員で、先生ご夫妻が媒酌人だったことから、新潮社に入社して月刊誌「新潮」の編集部配属された直後から、先生の担当を命じられた。当時連載中だった長編自伝小説『一人の男』（『或る男』の続編）の原稿を受け取りに、毎月二十日ごろの締切日に通ったのである。

作家というと、おおむね神経質な人が多いけれど、先生は些事にままわなかった。帯がほどけてい

たり、着物の裾を絵具で汚して現れたりすることもしばしばで、いったん原稿がご自分の手を離れると、あとはテニヲハや字句の重複など、ケアレス・ミスの訂正はまかせてくれた。

連載は三年後の四十五年十二月に完結したが、その後も最後の小説『或る老画家』を頂戴し、三島由紀夫自裁の際にも寄稿していただいた。五十一年四月九日、先生ご逝去の際は、直前に新潮文庫の編集部異動していたが、急遽呼び戻されて、追悼特集の編集にあたった。いまその時の目次を見ると、執筆者は里見弴、中川一政、瀧井孝作、河上徹太郎、武田泰淳、武者小路辰子と、さすが堂々たる顔ぶれである。

仙川近くに作家の李恢成氏やロシア文学者の池田健太郎氏がお住まいだったので、先生没後も仙川とのお付き合いは、細々と続いた（担当が違って、残念ながら、安

部公房氏とはお会いする機会は無かった）。定年退職後は、在野の一民俗学徒として、調査や執筆に専念した。

お付き合いが本格的に復活したのは、父親が亡くなってしばらくしてからで、改めて武者小路実篤とはいかなる存在で、「新しき村」とは何であったかを、考え始めた。村の機関誌である『この道』や『新しき村』のバックナンバーを読むため、実篤記念館の図書室に足繁く通ったが、ちょうどこの頃から、町がめきめき変貌してゆくのを見張った。南口駅前や、今のせんがわ劇場、それに安藤忠雄が設計したという斬新な住宅ビルのあたりである。

「仙川まちニテイ」の青野さんと知り合ったのは、一昨年の十一月、毎年仙川で開かれる「新しき村」の創立記念祭の会場であった。氏が編集する『せんがわ21』の「実篤空間と仙川まちニテイ」特集号はすでに読んでいたが、教育、文化、地域おこしと、さまざまな方面にネット・ワークを持ち、商店街のビルの一室にオフィスを設けて、エネルギーシユな活動を続け

# 新しき村 100年

～美しい新しき自由コミュニティを拓く～

ているのに驚嘆した。昨年、拙著『新しき村』の百年 愚者の園の真実』（新潮新書）を刊行し、今年になって「新しき村」再生のための組織「日々新しき村の会」を仲間と立ち上げてからは、同じ会員同士、ひんぱんに交流を重ねている。

さまざまな苦難を乗り越え、今年「新しき村」が百年を迎えたことは、それ自体、誇っていいことだが、問題はこれからである。自他共生、人類共生の理想に向けて努力することの重要性が、ようやく切迫して感じられ、世界が他の共同体にはないその「新しさ」に注目しているというのに、「新しき村」は今、累積する赤字と超高齢化、後継者難のため、このままでは十年足らずで消滅する運命にあるのだ。これは、村だけのことではない。日本中の町や村が直面している大問題である。

「新しき村」も仙川も、小なりといえども、私たちが今後も大切にしてゆかなければならない文化活動の拠点である。同じ問題をかかえながら、仙川は新しい取り組みに積極的に、地元密着の個人商

店街もにぎやか、新旧がバランスよく同居して、桐朋学園や白百合女子大学など有名大学もあって、教育文化芸術施設が充実している。何より、幼児の手を引く若いお母さんや青年男女が、大勢町を行き交っているのがいい。私は以前、せんがわ劇場を訪れて、その取り組みに感心したことがある。今後「新しき村」が、21世紀に相応しい村へと脱皮してゆくために、見

習いたいモデルの一つである。国家や民族がゆらぎ、家族さえもが崩壊の兆しのあるいま、私たちは新たなコミュニティ、共同體づくりへと踏み出さねばならない。そのことを全国に発信し、率先して実践する拠点（トポス）が、「新しき村」であり、仙川まちニティなのである。（『日々新しき村の会副会長、元『新潮』編集長』）

## 白樺派の時計―地域連繋の新しい形

玉川上水学術自由学芸七科研究所 松尾欣治

地域は固定されているので動かない。仙川は、いまでも昔も仙川である。そこに人の流れがある。昔見し人も、いつしかチラホラとなり、やがて誰もいなくなる。

九段、靖国神社の近くに二松学舎がある。そこに夏目漱石、嘉納治五郎が学んだ。嘉納治五郎は我孫子に学習院のような学園を夢見て土地を購入。無念にもその夢は頓挫。そこに甥の柳宗悦を住ませた。柳は学習院から武者小路実

篤、志賀直哉らを呼び寄せ、白樺派が誕生した。ここに《九段から我孫子へ》の人の流れが確認できる。

そして武者小路実篤は日向、宮崎県に『新しき村』を創設した。批判は激しく、白樺を逆に読んで「バカらし」。むろん、実篤は反発、こうした批判を発奮のエネルギーとした。

軌道にのるかに見えた日向の『新しき村』は、ダム建設のため

に手塩にかけた美田が水没。移転して埼玉県毛呂山に新しい『東の村』が誕生した。人の流れは『九段から日向へ、日向から毛呂山へ』と動いたわけである。

こうしてみると、新しき村は契機となった九段の二松学舎から我孫子へ、日向へ、そして毛呂山へと、時計回りの渦を形成していることに気づく。このことは、白樺派の命運は時計の形をしていることを意味する。この時計、チツクタク、もう百年も動いていたことになる。その時計が止まりそう。だれか、ゼンマイを巻け！

しかし、だれが、どうやってゼンマイを巻いたらいいのか皆目わからない。確かなのは、このままゼンマイを巻かないと、早晚、『新しき村』という時計の針は止まってしまっただろう、というところ。さあ、どうする？

この時計の中心を考えると、二松学舎、至近距離の神田神保町にある東京支部の新村堂、調布市仙川などが思い浮かぶ。ところが、二松学舎も、新村堂も、仙川も、中心を主張していない。毛呂山の新しき村は調布の一般財団武者小

路実篤記念館に遠慮しているのか、毛呂山中心を主張することはない。問題はここにある。白樺派の時計は毛呂山で止まって動かないかに見える。

そもそも、新しき村が自明のこととして「中心は毛呂山だ」と錯覚すると、この時計そのものが消えてしまう。時刻を指し示す針のない時計は、時計ではない。文字盤には我孫子、日向、毛呂山、……。二松学舎は白樺派の発祥の地とも考えられるから、柏キャンパスを我孫子キャンパスと見なしているようである。しかし、我孫子（実は柏）と九段の往復を繰り返している学生、教職員の人の流れては直線上のピストンの動きであって時計になっていない。白樺派の時計は、ゆっくりと百年もかけて毛呂山で止まって動かなくなつて、……終わるのだろうか？

答えは簡単、明白である。毛呂山の新しき村が我孫子を訪ねればいいだけのことなのである。あるいは我孫子が毛呂山の新しき村を招いて交流すればいいだけなのである。ときどき思うのだが、我孫子市民は新しき村の無農薬で栽培

されたお米を食べた経験があるのだろうか？ 新しき村のお米が美味しい！ とは、ぼくには言えない。ただ毎日、新しき村でとれた玄米を食べて元気になっているだけだ。

人の流れは物の流れ、物流ということにもなり、経済が動く。我孫子も米どころだろうから、毛呂山の無農薬米を試食以上のことはできないだろう。調布市の仙川は米どころではないので試食以上に消費できる可能性はある。が、その目的は美味しい！ からではなく、白樺派の時計のゼンマイを巻くためだ。経済の原理・法則を無視して、ゼンマイを巻くのだ。

時代は激変の最中にあり、変化の激しい波に翻弄され、浮遊しても難破船のようなもの。こういう場合には、錨を海底に投げ込み、停泊することだ。その錨を投げおろしたところが、白樺派の時計の中心となる。その中心にみずからの身を置けば、百年かけてひと回りする時計を見ることになる。ゼンマイを巻く術を知らない人びとが見える……。

新しき村にはこどもの姿が見え

ない。こどもたちがいたならば、新しき村は教育の問題も視野に入つたろう。実は、教育の世界では、武者小路実篤は復活していたはずの文学者なのである。ゆとり教育の時代、目玉は『総合的な学習の時間』だった。

その総合的な学習の時間の、最大規模、かつ成功例として新宿区で展開している『内藤とうがらし&かぼちゃ』プロジェクトがある。実篤と言えば、文学に関心のない人でも、「かぼちゃの絵を描いた人でしょう？」と応える。実篤となれば、かぼちゃなのである。そのかぼちゃが新宿区の全域の学校で栽培されていたとしたら、……。当然、実篤が思い出される。白樺派の故郷、学習院では初等、中等、高等教育、大学院まで、内藤とうがらし&かぼちゃを育て研究している。内藤かぼちゃとは、武者小路実篤が好んで描いたかぼちゃのことである。その、育て研究する手法は、いま教育界の最先端『アクティブ・ラーニング』そのもの、これまた最大規模、かつ成功例となっているのだ。

新しき村よ、なぜ、かぼちゃを

育てない？ 学習院は自明のこと  
 すぎて、白樺派の発祥の地である  
 ことを主張しない。卒業生の実篤  
 が好んで描いた『内藤かほちゃ』  
 を育て研究する際に、ふと思いつ  
 す実篤のかほちゃの絵。ここでも  
 また、白樺派の時計は止まってし  
 まう。なぜなのだ？ 新しき村が、  
 かほちゃ栽培に無関心だからでは

ないのか？  
 白樺派の時計のゼンマイを巻く  
 ことができることは、教育の世界で  
 武者小路実篤文学の復活のみなら  
 ず、日本の教育の理想・総合的な  
 学習の時間の有意義で実効的な活  
 動にアクティブ・ラーニングとし  
 て参画することを意味していたの  
 である。  
 (日の出町大久野)

## 「新しき村」の活性化のために 『実篤かほちゃ』を創る

むらまちづくりコーディネーター 山口道朗

ブランディングという言葉をご  
 存知でしょうか？ ブランディン  
 グとは、ブランドを形成している  
 ささまざまな要素や活動を総称する  
 呼称です。わかりやすく言えば、  
 ある商品を他の同じような商品か  
 ら明確に差別化しようとするマー  
 ケティングの手法の一つです。

「新しき村」をブランディング  
 の観点からみれば、武者先生のご  
 存命中は「武者小路実篤」のお名  
 前はもちろん、先生の提唱で創設  
 された「新しき村」も先生のご活  
 躍がマスコミを通じて全国に情報

発信されることで、多少といえど  
 もブランディングの重要な要素を  
 継続的に保持することができてい  
 たものと考えています。

しかし、1976（昭和51）年  
 の武者先生ご逝去後、先生の動向  
 を通じての継続的な情報発信はな  
 くなり、徐々に発信が少なくなっ  
 ていくにしたがって、「新しき村」  
 の知名度はもちろん認知度も低く  
 ならざるを得なかったのだろうと  
 思っています。  
 中高年の方はほぼ武者先生につ  
 いてはご存知ですが、「新しき村」

についての認知度は1〜2割程度、  
 若い方になるとお名前は知ってい  
 ても「新しき村」についてはほぼ  
 全滅です。さらに現役の大学生の  
 中には武者先生のお名前さえ憶え  
 ていない（中学・高校では授業で  
 学習しているはずですが）方もい  
 るほどです。

「新しき村」にとって、本年の「創  
 立100周年」という事実は、関  
 係各所で開催されるイベントや全  
 国に発信されるさまざまな情報を  
 通じて知名度や認知度を高める、  
 またとない好機であるといえます。  
 ブランディングの卑近な成功例  
 といえば、私が2012年11月新  
 宿区立大久保公園で開催された  
 「第7回農山村ふれあい市場」で  
 知り合い親交を深めている成田重  
 行氏が2010年に発足した「新  
 宿内藤とうがらしプロジェクト」  
 があります。

『内藤とうがらしは、江戸時代  
 の宿場町、内藤新宿で育てられた  
 野菜のひとつ。当時、蕎麦が流行  
 していた江戸では、薬味として瞬  
 く間に人気となり、新宿近郊の農  
 家がこぞって栽培をしていました。  
 (中略)

それから約400年経ち、  
 2010年に内藤とうがらしプロ  
 ジェクトが発足。長い眠りから目  
 覚め内藤とうがらしは現代に復活  
 しました！ 現在では、伝統の江  
 戸東京野菜に認定され、歴史ある  
 新宿の名物として再び脚光を浴び  
 ています（内藤とうがらしプロ  
 ジェクトホームページより）。

新宿内藤とうがらしプロジェク  
 トは、今や2020年に向けた新  
 宿区の町興しプロジェクトとして  
 実績と知名度を上げておりました  
 が、その実績が実を結び、9月に  
 地域の名物を商標登録する特許庁  
 の「地域団体商標」に登録が決ま  
 りました。

昨年私を「新しき村」村外会員  
 に勧誘した松尾欣治氏から内藤か  
 ほちゃ（内藤とうがらしプロジェ  
 クトの復活ブランド）があるんだ  
 から、「実篤かほちゃ」もできる  
 んじゃないか？ との提案があり  
 ました。

武者先生は一般的には「かほち  
 や」など野菜の絵を描く作家とし  
 て有名です。私は「新しき村」を  
 活力ある村としてリニューアルす  
 べく、新「新しき村」からさまざま

まにリニューアル事業の提案・実施をしていきたいと思っております。

そこでその第一歩として、実篤を確実にイメージできる『実篤かぼちゃ』をブランド化して栽培・販売できないかについて、前述の成田氏に「内藤かぼちゃ」を参考にして、埼玉県の毛呂山町の「新しき村」で「かぼちゃ」を栽培し『実篤かぼちゃ』と命名(商標登録)しブランドイングできないかについて協力を依頼し、全面協力していただけることになりました。

「内藤かぼちゃ」はJA東京中央会が認証したもので東京以外での使用はできません。そこで『実篤かぼちゃ』はJAさいたまに認証していただき、新しき村及び埼玉県毛呂山町のブランドかぼちゃにしたいと考えております。

それが実現すれば、「実篤かぼちゃ」が存在する限りは、ブランドを通じて武者小路実篤とかぼちゃの関係を思い起こしてもらおうことができます。そして、多々あるかぼちゃの中から『実篤かぼちゃ』を選別して購入してもらおうことも可能となります。また、秋には地

域を巻き込んだ収穫祭の開催やかぼちゃスケッチ大会(実篤賞その他の授与検討)など、文化活動への広がりも期待できるとともに、全国への情報発信にもつながります。

現在「新しき村」でも「かぼちゃ」が栽培されているということ

## 桐朋学園芸術短期大学三せんがわ

安宅りさ子

桐朋学園芸術短期大学は、音楽専攻と演劇専攻から成る小さな短大です。300名ほどの芸術を志す学生が桐朋学園仙川キャンパスの片隅の校舎で学んでいます。短大の2年間で一定の成果を出すためには、どうしても「詰め込み教育」にならざるを得ません。さらに2年間の専攻科に進学する学生も多く、学部卒と同じ「学士」と認定されています。そのため、学生たちは年間を通じて、朝から晩まで仙川で過ごすことになりました。そんな彼らにとつて、仙川の町は文字通り「第二の故郷」になる

です。ブランドイングをしつかりしさえすれば、実現にはまったく問題はないと考えられます。

スケールは小さく見えても、実現することで大きな結果を得られる可能性があると考えれば、すぐにも開始すべきだと考えております。(山口長男作品登録会会長)

ようです。卒業後も仙川に住み続ける者も少なくありません。学生たちの声を聴いてみると、演劇専攻を対象に簡単なアンケートをしてみました。すると8割以上の学生が仙川に格別の親しみを感じていることがわかりました。

親しみを感じると答えた学生のうち、8割弱が「おらほせんがわ夏まつり」の参加者です。演劇専攻の学生は、例年おらほ祭でダンスパフォーマンス「桜華乱舞」を披露しています。毎年、この夏祭りを楽しみに、放課後の空き時間を使って稽古を重ねています。今

年の桐朋祭のパンフレットには、こんな挨拶文が載っていました。『こんにちは！ 桜華乱舞です。』

私たち桜華乱舞は桐朋学園芸術短期大学演劇専攻の有志団体として活動しています。毎年7月の仙川で行われるおらほ祭ではパフォーマンスや設営などで協力させていただきます。1月には調布市の成人式でお祝いのパフォーマンスをさせていただきます。このような活動ができるのも家族、友人、先生、そしてあたたかく見守ってくださる仙川の皆さんの協力があってからこそだと思います。

これからも、感謝の気持ちを忘れずに皆さんと仙川を盛り上げていきたいいなと思っております。よろしくお願いいたします。』

桜華乱舞のメンバーのみならず、音楽専攻・演劇専攻のすべての学生が、同様の感謝の念を仙川の町に抱いていることと思います。仙川では様々な場所で桐朋の公演や演奏会のチラシを目にすることが出来ます。学生たちをあたたく支えて下さる地域の皆様、教職員が心より感謝申し上げます。こ

調布市せんがわ劇場では、毎年、地域連携事業の演劇公演やオペラ実習試演会をさせていただいています。また、音楽専攻の学生・卒業生は、サンデー・マティネ・コンサートにも出演させていただいています。演劇コンクールに参加する演劇専攻OBもいます。そのような劇場において、本学の創立50周年記念公演や各専攻の創設50周年記念公演を実現できたことは、望外の喜びでした。

さて、桐朋の近くには調布市武者小路実篤記念館・実篤公園があります。アンケートに答えた学生のうち3分の1が文豪の記念館・公園を訪れていました。若者の活

字離れが著しい中で、武者小路実篤の作品を知っている学生の割合は、5分の1でした。これを少ないとみるか多いとみるかは難しいところですが、他の地域の学生に比べれば、かなり高いといえるかもしれません。実篤記念館・公園が身近にあることで、自然と関心を持つのでしょうか。

このような環境があればこそ、本学の特色ある芸術教育が成立しています。桐朋学園芸術短期大学は、これからも仙川という魅力あふれる町の中で、次代を担うアーティストを育成していきたいと思っています。

(桐朋学園芸術短期大学教務部長)

## コミュニティ・ガーデンのフード文化

白百合女子大学文学部准教授 アン マクナイト

米日の文学・比較文化、都市の自然・農業とともに食文化を私は研究テーマとしております。ロサンゼルスと東京は驚くほど共通点があります。スケールが大きく、空き地が多いところです。

しかも活気のあるメディア産業があり、クリエイターが多くて、フード文化が進んでいるところで「フーディ」というのはグレメだけどB級グルメでもかまわなめという食べ物と食べることに非

常にこだわりのある人です。でもフーディ文化が進んでいるにもかかわらず、子供の貧困率は、ロスでは7人のうち1人、東京は同じく16・8%です。いわば「食材砂漠」に住んでいる人が増えてきましたので、その食料格差が現れた環境で「消費する」場所から「生産する」場へ転換することが大切になりました。

ロスでは、地元の食材を活かし、食文化の変化を通して住民の健康、環境、人間関係を新しく支えました。プレスメイキング活動が盛んになっており、「プレス(Place)」は場所の意味で「メイキング(making)」というのは「作る」ことです。近所改善運動は芸術家たちが関わり、フォーレン・フルーツというアーティスト団体が「フルーツマッピング」というプロジェクトを続けています。色んなエリアの「パブリック・フルーツ」の地図を描いています。「パブリック・フルーツ」というのはパブリックな場所、あるいはプライベートな空間でできる果物です。法律的には両者とも誰でも取ってもいいのです。

もう一つ、フード・フォーワードがあります。その団体は「フードレスキュー」をしています。3つのことをやっています。前提として、食べ物の半分ぐらいは「もったいない」になっていることです。ボランティアたちと一緒に余っている果物を収穫して、フードバンクや子供食堂に届けます。また、ファーマーズ・マーケットで同じような野菜や果物を「レスキュー」します。それと最後に卸売市場で、余って捨てられそうな果物や野菜を集めて、再配給します。合わせて7年間でおよそ一三、六〇七、七七一キロの食べ物を集めました。

最後に食育とスクールガーデンです。1980年代から、アート、音楽、体育の予算が段々削られてくると同時にこどもの肥満率が上がり、集中力が不安定になっている傾向があります。ガーデンを利用することで、その傾向を逆転させ、運動や遊びを再びサポートにすることができました。野菜作りがわかると子供は親にヘルシーな食べ物を頼むことができますし、移民の多いまちには自分の母国の

文化と今住んでいるまちの文化が共に成長できることとなります。ロスのガーデン作りの成功は移民の人たちの食文化（労働）を抜きに存在できません。地元のヘルシーで安価な野菜や果物を要求する家族が増えるとスーパーマーケット

とも対応しはじめます。

以上がロスでの独特なブレイスメイキングとその食文化の具体例です。ここまで紹介した方法は、環境とつながりを再生するために東京でも有効だともいいます。

（杉並区永福町）

## 手軽に自然と触れ合ってもらおう 機会を作りたい

山内ぶどう園 園主 山内美香

じゃがいも掘りを楽しみに来園されたファミリーが勇んでジャガイモを掘り始めた時、お子さんがミミズを発見し「お母さん、ミミズがいたよ。」と叫びました。お母さんが子どもに駆け寄り「ミミズね、お母さんも久しぶりに見たわ。」微笑むと、それを見ていたお父さんがミミズをつまみあげました。お子さんはミミズを恐る恐る受け取ると、いつまでも見つめていました。ご両親もじゃがいも掘りを忘れてミミズに夢中になっていた息子に話しかけていました。

このやりとりをみて、収穫よりも寧ろ自然と触れ合うことを大切

にする方が多いことに気づきました。自然と触れ合うことについて子どもだけでなく、大人も夢中になるということは、私にとって大きな発見でした。来園される方たちは、日常生活では自然と触れ合う機会がないんだなと実感しました。

山内ぶどう園では、四季を通して旬の野菜やフルーツを収穫して頂く体験イベントを開催しています。とりたて野菜やフルーツ独特の瑞々しさや香りを感じて貰うため、収穫したばかりの食材を使ってランチを作るプログラムを提供しています。例えば、去年の春に

開催したポテトチップスやビシソワーズをつくる「ジャガイモづくし」のイベントは、多くのお客様にご来園頂きました。その後、もぎとったばかりの柿をクリームやジャムと共にピザへ乗せてたべる「デザートピザを作る」イベントも開催しました。

東京都を中心に、神奈川県、埼玉県などからお客様がいらつしゃいますが、皆さん口々に「近所には体験できる農園がないので。」とおっしゃいます。イベントの最後「お陰様でリフレッシュ出来ました。明日から仕事頑張れそうです。」と声を掛けて下さった女性の笑顔を見て、普段自然と触れ合う機会が少ない都会の方にこそ、このような農園が必要なのだと感じました。

子どもの頃から比べると周辺の畑は格段に減り住宅化が進んでいます。住宅地の合間を縫うように残る畑に対し、その必要性を疑問視する意見があります。しかし、地元で採れた新鮮な野菜を食べたい、もっと気軽に自然と触れ合いたいというニーズは確実にあります。農園はその受け皿として存在

するだけではなく、人に安らぎを与えてくれたり、農作業で五感を刺激したりと、その重要な役割を持つていると思います。その役割を多くの方々に知って頂くことこそ、農園を引き継ぐ者の使命なのではないでしょうか。

私はこれからも様々なイベントを通じて、沢山の人に自然体験をして頂くことで、農園の可能性を探り続けたいと思います。これが皆様に小さな気づきを与え、日常を彩ることが出来たら、園主としてこれ以上嬉しいことはありません。

（若葉町3丁目）



アシッド療術  
エステサロン

# HiMika

ひみ家

アシッド療術エステ師  
生徒募集中!

(公社)療術師会  
認定講師 渡辺ひみか



桐朋学園正門前 ☎03-3300-8667

## わかば製額

額縁・制作 販売



若葉町 2-24-2  
T&F 03-3309-6784



## 多摩ボデー整備

お車のことなら何でも!

地域でご愛顧いただき54年。  
信頼と安心の多摩ボデー整備株式会社

☎03-3307-6105



調布市東つつじヶ丘1-15-3 甲州街道沿い  
钣金・塗装・車検・保険修理・デント・廃車処理  
車輛販売・代車貸出・引取り納車・カード払 OK

身近な"ホーム"ドクター  
住宅のことならなんでもご相談下さい

## 渡辺建設株式会社

東京都 調布市 入間町 1-37-7  
TEL:03-3308-6161(代) FAX:03-3309-7765  
E-mail:watanabekensetu@dance.ocn.ne.jp  
http://www.w-kensetsu.com



## 仙川耳鼻咽喉科

レーザー治療研究所併設  
(社)日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医

平 日/AM10:00~12:30  
PM 2:30~7:00  
土 曜/AM10:00~1:00  
休診日/日曜・祝日・木曜午後  
※木曜午前(喉の健康指南)要予約

桐朋学園正面通り ☎03-5313-3281

健保 労災 自賠責保険

## 栗山接骨院

(物理療法 手技療法 整体療法)

— 治療科目 —  
骨折(後療)・脱臼・捻挫・打撲・挫傷  
スポーツ障害・交通事故障害・リハビリテーション  
首・肩・腰・膝痛 その他各関節の痛み  
手足のしびれ 肩こりは健保適用外

— 必ず良くなります お気軽にご来院下さい —  
調布市若葉長 2-19-2 TEL (3326)0346

## 森のテラス

Open Garden

森のテラスは山田茂雄造園事務所が運営するオープンガーデンです。

Open 10:00~16:00 月曜定休  
東京都調布市若葉町 1-32-13 Tel 03-3307-1987  
Mail info@moritera.com HP www.moritera.com

口腔外科 顎関節症 小児歯科 インプラント 訪問歯科

☎03(3308)8018

## 若葉歯科医院

月・火・水・金 9:00~12:30 14:00~21:00  
木 9:00~12:30 土 9:00~18:00 日・祭休診  
仙川町1-33-35 (若葉町2丁目交差点)

## ASA仙川

TEL:03 3326 4693  
✉ asa@asa-isao.com



紳士用品専門店

## men's ツカモト

滝坂小・若葉小・緑ヶ丘小スクール用品取扱店  
仙川商店街中程 ☎3300-6707



## 仙川地図研究所

sengawamap.com

『見る知る歩くせんがわ地図』好評発売中!!

魚酒場

## 汝

仙川駅入り口バス停となり  
地元野菜・全国の銘酒

金土日 11:30~15:00  
月~金 18:00~26:00  
土 16:00~28:00  
日・祝 16:00~26:00  
不定休 ☎03-3307-9888

# 新しき街づくり

仙川青友会会長 齊藤誠一

せんがわ・緑ヶ丘・若葉町の青年有志で構成されている組織が仙川青友会です。創設四十五年、自由社会の一員として視野を広め、会員の相互理解と親睦を図り、地域と密着した活動を行い、明るく豊かな住みよい町づくりに寄与することを目的としています。昨年十一月の会長就任から一年がたちました。主な活動としては八幡神社祭礼での駅前御酒所での餅つき等を行っています。仙川青友会会長としての使命に、まちづくりが入っているのですが、今までの事業を踏襲するのが精一杯で、新しき街づくりに寄与できるかどうかについては難しいものがあります。

まだ街コン自体が知名度が低い時期でしたが、見事に大成功。仙川商店街を代表する人気イベントの一つとなりましたが、そこは時代の流れ、各地で同じようなイベントや商売として街コンを開催する業態も増えました。昨今では相席居酒屋などという手軽な出会いの場まであります。街コンの応募者も減り、一時期は9店舗二百八十人を集めたイベントが最後には店舗の定員すら埋められない始末でした。しかしながら、この少子高齢化の時代に出会いの場とチャンスを提供し、街の活性化と参加者の人生に、少なからず幸をもたらしたと自負しております。

その他にも、仙川キューポートとコラボしたイベント、うきうきイースターでは、卵を使った料理やお菓子で街を盛り上げ、今では物販も加えたスタンプラリーイベントとして、四月の定番イベントに定着しました。まだ記憶に

新しい十月末の「ハロウィン」も試行錯誤の結果、今のスタンプラリーの形になり、本来のハロウィンとは多少かけ離れていますが、家族全員で仮装して盛り上げる活気のあるイベントとなっています。

落語ブームに乗った「おらほせんがわ落語会」も好評です。二ツ目の嘶家さんにハローモニープラザで落語をして頂くのですが、お客さんには落語の前に商店街の飲食店でランチを召し上がって頂くこと

いうイベントです。

このように仙川のまちづくりをイベント面から盛り上げた結果、最近の調べでは、新婚夫婦が暮らしやすい都内の穴場駅の1位に仙川が選ばれたりもしています。なかなかいいアイデアも浮かばなくなってきたりしますが、今後もイベントで街を盛り上げていく、新しい街づくりをしていきたいと思えます。

(仙川一丁目)

## 新しき街づくりそして交流

仙川商店街協同組合 理事長 川原慎一(神代書店)

新しき村創設百周年おめでとうございます。武者小路実篤先生は昭和三十年に仙川へ越して来られました。先生には地元のお店街で、いろいろな商店をご愛顧頂きました。商店によっては、先生より色紙や小物など頂き、今でも大切にしています。

当店・神代書店にも先生より色紙「雨が降った それもいいだろう 本がよめる」を頂きました。

当店は商店街の南端にあり、先生は自宅を訪ねる人に道を聞く先として当店を教えていたと聞いております。その御礼も兼ねて本屋らしい一文を書いて頂きました。今も店内に飾らして頂いております。

先生の住まいのあたりは、昭和三十年代後半より徐々に周りに民家が出来始めていましたが、先生の庭は昔ながらの武蔵野の風情を残されていました。昭和五十一

(二九七六)年四月にご逝去され、翌々年の五十三年五月に自宅と庭が「実篤公園」として公開されました。庭だけでなく住まいも見学でき、武蔵野の原風景を感じることでできました。その後、六十年に「調布市武者小路実篤記念館」がオープンしました。どちらの施設も公開当初より多くの方においで頂いています。

仙川商店街協同組合は前身の仙川商業会(昭和二十五(一九五〇)年発足)を母体として昭和五十三年に法人化しました。それから商店街通りのカラー舗装施設、駐車場営業開始、事務所移転、防犯カメラ設置、街灯のLED化等、お客様のニーズも考慮して拡充してまいりました。現在約二〇〇店の店舗が加盟していますが、チェーン店の割合もかなり多くなってきました。しかし、個人商店も多数頑張っており、昔から変わらない情熱を持ってお客様と接しています。それら個人商店も創業者の子や孫の世代となり、若い世代が中核となっています。

春の「イースター」や、秋の「ハロウィン」、冬の「落語会」及び七月と十二月の大売り出しなど様々なイベントを若い世代を中心とした役員たちが企画・運営しています。どのイベントもお客様にご好評を頂き、イベント時の商店街は多数の方で賑わっています。その光景を見て、商店街の役員もより頑張ろうと奮起しています。仙川をたくさんの方が集まる活気ある街にしていこうと自分の仕事も含めて毎日情熱を持って頑張っています。

また、毎年九月に「仙川地区八幡神社祭礼」を催しています。このお祭りは地域の自治会である「親和会」、地域の生産組合仙川支部と仙川商店街協同組合の三団体が中核となり行っています。戦前から引き継がれてきた大太鼓や神輿を子供たちに担いでもらい、仙川駅近くの神酒所から緑ヶ丘の八幡神社まで巡行しています。この褒美に子供たちにはかき氷やつくたてのお餅が振る舞われています。「仙川青友会」がこのかき水や餅つきをはじめ、祭りの準備・運営・片付けなどを三団体と共同

で行っています。この「仙川青友会」は仙川・緑ヶ丘を中心に地域で農業・商業・工業など様々な仕事をしている若い世代の方々の集まりです。昔から続いているお祭りを通して、昔からの仙川の住人の方々から小さなお子さんまで近隣に移り住んでこられた老若男女が集い、和気あいあいと交流をしています。若い世代が仙川育ちだけではなく多くの人たちを取り込み

## 仙川半世紀の桐朋育ちの記

桐朋女子中・高等学校 校長 千葉裕子

ながら地域の中核として、仙川を今以上に活気あふれる街にしてゆくことと思います。仙川は実篤先生がお住まいになられた頃とは大きく変わってしまった事もありますが、根幹は変わっておらず、仙川に集う多くの人たちが交わりながら、素晴らしい街になってゆくと信じています。(若葉町一丁目)

私が実家のある千歳烏山から電車に乗り、仙川で降りて桐朋幼稚園に通っていたのは、昭和30年代である。駅から学園までの間の西側には一面の麦畑が広がり、天気の良い日は富士山がよく見えた。学校の正門に続く通学路は砂利道で、自然と石けりをしながら歩いた覚えがある。正門に近づく左側に、門のブロック塀に、丸釘を打

が集まるスポットであった。下校途中には、寄ってたかかってその数字を指でなぞって触って帰るのだ。そのせいか、丸釘の頭は黒光りしていた。

中高時代も通学路は現在と変わらずであったが、東門からそのまま商店街に行くメイン道路を通ることもあった。今でも思い出に残っているのは、桐朋女子中高等学校の東門の角に交番があつて、毎朝、横断歩道を通る時におまわり

さんが立って、私たちに「おはよう！」と明るく大きな声をかけ続けてくださった。時には、「おはよう」以外に「今日もがんばれ」というような元気を注入する言葉がけもあり、やがてそのお巡りさんは生徒の中で「おはようのお巡りさん」と呼ばれ学内で人気者になっていった。私の学年では、卒業後の同期会で（記憶では30年以上経ってから）その「おはようのお巡りさん」をお招きしたことがあったほど、爽やかで明るい声の挨拶で一日が始まることに、いつまでも感謝の気持ちを持っていた生徒が多かったのである。

商店街に肉屋さんがあって、食欲旺盛な桐朋生の中には昼休みにそこで熱々のコロッケを買い、緑の紙に包んでもらって学校でお弁当に加える人もいた。また、さらに人気であったのが、丸十というパン屋さんである。私は常連ではなかったが、弁当の代わりに丸十でパンを買い求める生徒は多かった。

1ブロック西側のもう1本の通路には「源平ラーメン」、隣に「よしきり」という甘味処、道の反対

側の「日東紅茶」が、上級生にとっては誘惑にかられる寄り道のベスト3だった。日常的にはそこに寄って食べて帰るなどという大胆不敵な生徒は少なかったと思うが、夏休みや冬休みには、誘惑に負ける生徒と、見回りにいらっしやる先生方との出会いのタイムミングの運・不運があったと思う。私は、自慢ではないが、やけに正義感が強く、興味はありながらも寄り道をしたことはなかった。しかし、ある日をきっかけに、夏休みに限ってはあるが、何日かクラブの練習の帰りに「よしきり」に寄った経験がある。そのきっかけは、クラブの先輩方に「氷を食べて行こうよ。」と誘われ、半ば強制的に寄ることになったものの、その初めての体験は、先輩と寄るという緊張と、寄り道はいけないのに寄っているという罪悪感（大げさだが）にかられドキドキが止まらなかった。ただ、その時食べた水レモンの味は今でも忘れられない。私はよしきりの大ファンになり、かき氷に関しては全種類を制覇する勢いで夏休みに機会があれば寄っていたと記憶している。

桐朋学園の南側には、武者小路実篤の記念館と公園がある。40年ほど前には、小学校でのマラソン大会で、学園の西門から外に出て、実篤公園の横の細い坂を下り、東に進み、今の調布四中を右手に見ながら奥の坂を上り、今の東部公民館の前の道に戻って学校へ帰るというコースを走っていた。もちろん、そのコースでの運営が厳しくなり場所を変えてマラソン大会を行うようになってからは久しい。さて、その武者小路実篤記念館と公園に話を移したい。武者小路実篤（以下、実篤）は、昭和30年（1955年）の70歳の時に、ここ仙川に移り住み、90歳で亡くなるまでの20年間、晩年を過ごした。水と緑とそこに集まる鳥や虫や動物、実篤は水のある地を求めたという。昭和30年は、桐朋小学校が誕生した年でもあり、ついでに言わせていただければ、私が生まれた年でもある。子ども時代に、ほとんど「森」という認識で見ていたこの地に、人が住んでいと思うわずに過ごしていたのも事実である。

女子中・高等学校では授業や、クラスのホームルームなどで見学、散策で利用させていた。今年9月末に、書道を選択している高3生が実篤記念館に伺った。その時の生徒の感想からいくつか抜粋して紹介する。

「現代文の教科書に出てくる武者小路実篤が、書道にここまで力を入れていたことは、記念館に来なければわからなかった。自分の好きなことを一つにしぼることなく、90歳近くまで挑戦していること、姿に感銘を受けた。」

「『美しき 花を咲かせる夢を見つ 静かに力貯はふ』百合根の絵の上に墨がにじみ、丸みのある字で書かれており、温かみのある作品だった。美しい花を咲かせるという目標に向けてじつと力を蓄えている百合根に、今の自分を照らし合わせてしまった。私も百合根のように自分の夢に向けて努力を続けたいと改めて思った。」

「実篤の作品は独特のものが多く、自信に満ち溢れている。書いている言葉は一見普通の文のように思われるが、よく見るとその中に深い意味が込められていると思っ

た。」

武蔵野の自然が残る仙川を代表するような、まさに鳥や虫や動物たちの楽園が、学校からこんな近いところにあるという恵まれた環境に感謝したい。これからの時代、このような環境は益々貴重となるであろうし、環境を守るための努力がなおさら必要になると思う。

実篤の多くの作品から共通して感じるのは、実篤がこの地球に存在する命すべてに尊敬の心を抱きながら、暖かい眼差しをもって接

しているということである。その

眼差しや思いは、人間と自然、人間と人間、人間と動植物、等、全ての関係に通じて、真のコミュニケーションを求めているように思う。正に人間を取り巻くもの全てに向けて「君は君 我は我也 されど仲よき」ということだと思ふ。

私は、半世紀以上、若葉町に通う一人として、その精神、課題こそ受け継いでいかなければいけないと考える。

## アトリエ長杉荘について

ちようさんそう

彫刻家 滝 廉太郎

実篤は生涯を通して、文学はもとより、美術、演劇、思想と幅広い分野で活動し、多くの功績を残した人である。その彼の理想の中に「新しき村」の社会建設もあった。彼の考え方の中に、価値多様な生活を実行すること、価値多く自他を生かせる道を歩くこと、特別な方面で人類に役立つ人には、その方面に全力を尽くす、自分免

許は困る、その人の才能が浪費されることを惜しむ人が出て、仕事をみんなに紹介し、それを賛する人が出て来て興論（世論）を動かせばいい、という考え方があった。そのような実篤の考え方に賛同、入村した人達があった。村内生活の中でアトリエ的な建物の必要性を感じ、しばらく要望があったが、そのままであった。

後に会員であった画家の松本長十郎が、念願であったアトリエを建設し、寄付。アトリエは1965（昭和45年）10月に完成。側に大きな松と杉があり、松杉荘、長春荘などの案もあったが、「長杉荘」と名付けられ、現在に至っている。

課題であったアトリエができた当時、会員達の喜びは大きなものであった。残された資料から読み取れることがある。東京モデル紹介所から、その頃大変であったと思われるが、ヌードモデルを依頼。洋画、日本画、彫刻の各ジャンルで、勉強会が熱心に行われていた。美術指導にあたっていたのは、渡辺修（渡舟）氏。

建物・概要については、ほぼ当初のままの、16・5坪である。ここに至って風雨破損もあり、元住人であった渡辺修氏の娘である京鼓さんが村の人と協議、アトリエ保存が決まり、改修を行った。新しき村美術館、生活館（会員作品展示）と一連のものであり、残す意味については、良かったのではと思う。渡辺氏は実篤の著書に感動し、1955年、19歳で入村。

実篤の影響もあり広範な知識を持った人であった。2007年に71才で生を全うされた。

新しき村の長杉荘の意義について考えてみると、芸術作品の創作の為だけでも言いきれず、人と労働、芸術と精神が一体を成す「存在の場」であったように思えてくる。（飯能市白子）

## 新しき村へのアプローチ

### ■新しき村東京支部

新村堂 千代田区神田神保町2-11メゾン・ド・ヴィレ801

TEL 03・3261・4913  
月例会 一月を除く毎月第一日曜  
日14〜16時

木曜会 毎週木曜日18〜20時

### ■新しき村（毛呂山）

埼玉県入間郡毛呂山町大字葛貫  
423-1

TEL 049・295・5398  
<http://atarashiki-mura.or.jp/>

### ■日向新しき村

宮崎県児湯郡木城町大字石河内  
1333番地

TEL 0983・39・1139

武者小路実篤「馬鹿一」による

一人の男がいた。

石の絵を一心不乱に描いている。

一流の人間たちは、その男の絵を高く評価し、その男を、二女なく愛した。

武者小路実篤作品の中の一人の画家。

名を「馬鹿一」と言う。

源 浩 隆

ポエム劇

<末永版>馬鹿一

# 馬鹿一という、あこがれ

末永明彦

僕の中の「馬鹿一」を  
この街を作った人達と  
今、作ろうとしている人たちをつないで  
僕の夢とあこがれを書いてみました

すえながあきひこ

脚本・演出家

演劇・市民参加・地域連携コーディネーター

2011年～ 調布市せんがわ劇場 参画

2012年10月「わが街せんがわサネアツさん」作・演出 他

世の多くの人は、そんな男の生き方を「うらやましい」と思い、「自分にはとても出来ない」と決めこんでいる。

中には、自分には出来ないことをする男を疎ましく思い、自分に言えない言葉で言い放つこの男を、嫌な奴だと決めつける。

そんな自分も、あの男より劣っている、汚れていると感じながら、その思いに蓋をして、気付いてないふりをしている。

そんなふりをしている自分に、なお苛立ち、

源 浩 隆

この町にも、一途な男がいる。

自分の思うことを、何も飾らず、損得も考えずにものを言う。

時に人から誤解され、時に多くの人から馬鹿にされる。

しかし、その男は、そんなことにはお構いなしに、相変わらず自分に思うことを言い、思うままに行動する。

源 浩 隆

いなければ気が済まない。  
 本当は自分も、あの男のように生きてみたい  
 いや、皆、そう思っているに違いない。  
 そんな男への「あこがれ」  
 かつて、そんな男たちが、この町に居た。  
 ある男たちは、この町の町並みを整え、鉄道  
 の切り通しの上に橋を架けて人の往来を絶や  
 さなかった。

湯島 彦彦

男を、おかしいと非難する。  
 正しいとわかっている男を非難する自分の方  
 が、本当は嫌な奴なのだ、内臓こっさり  
 自分を非難する。  
 不自由な自分と、自由な男。  
 不幸せな自分と、幸せな男。  
 自分は不自由なだから、あの男も不自由で  
 いて欲しい。  
 自分が不幸せなだから、あの男も不幸せで

湯島 彦彦

想いの強い、一途な男は強<sup>コウ</sup>い。  
 だから、想いの弱い人たちがは、恐れられ、  
 疎まれるのだらう。  
 一途に馬鹿な男たちの時代が過ぎ、この町も  
 大きく変わろうとしている。  
 わたしは、一途な馬鹿になりたい。  
 一途な馬鹿にあこがれる。

湯島 彦彦

ある男たちは、この町の繁栄を願い新たな町  
 の祭りを始めて、多くの人がこの町に集った。  
 ある男たちは、この町の文化を守り育てるた  
 めに集い、明日の町づくりを語り合った。  
 そして、この町の今がある。  
 男たちのこの町に注ぐ熱い想いは、いまでも誰  
 かに受け継がれ、溢々と流れている。  
 そんな男たちを支えてきた、強く賢い女たち。  
 母であり、妻であり、娘であり、友であり。

湯島 彦彦

曰く。  
 本当の自分を知り、好きになること。  
 自分に自信を持つこと。  
 人は、自分に自信を持てると、他人に寛容に  
 なる。受け入れる余裕が生まれる。  
 自分が自分らしく、その人がその人らしく、  
 誰もが認め合い、生きがいのある人生を全う  
 して生きる。

馬鹿屋製

時代が大きく変わろうとも、一途に馬鹿屋人  
 生を生きたいと、あこがれる。  
 「馬鹿一」のように。  
 あの、「馬鹿一」のように。  
 「居るよ」と、誰かの声。  
 「この町には、馬鹿な男が、まだ居る」  
 心に、「馬鹿一」が語りかけてくる。  
 その男たちの呼びかけに、耳を傾けるのだ。

馬鹿屋製

人たちをつなぐ物が必要。  
 つなぐ場が必要。  
 そして何より、つなぐ人が必要。  
 つなぐ物。言葉、行動、こころ。  
 つなぐ場。町並み、集う場、家庭。  
 つなぐ人。一途に生きる「馬鹿一」たち。  
 それらによって生み出される  
 「奥篤空間と仙川まちニヤ」

馬鹿屋製

生か社会人、大人と子ども。  
 この町に「ゆかり」のある、すべての人たち  
 の心に、そんな思いが芽生えた。

この「仙川」という町は、きつと、奥篤さん  
 が望む理想郷「新しき村」のような、生きが  
 いのある、皆が幸せに生きる町になるのでは  
 ないか。

そのため  
 今、この町に生きる「馬鹿一」と、この所の

馬鹿屋製

# 「新しき村」百年前に見た夢

作家 関川夏央

実篤が「新しき村」に着手したのは一九一八（大正七）年、ちょうど百年前である。

当初、東京の近郊に「村」を建設して、週末には東京に帰れるようにするのがよかろうという意見もあったが、実篤はうべなわなかつた。それでは家庭農園にすぎない。自分たちは覚悟を持って芸術・農業両立の生活に入るのだから、辺境が望ましい。日本の発祥の地とされる「日向」は、その呼称が暗示する温暖な気候とともに好適地ではないかと彼は考えた。

最初、霧島山麓の小林、それから西都原古墳群で知られる妻に行き、さらに宮崎平野を流れる小丸川中流域によさそうな土地を見つけた。しかし東京の不在地主は、三十町歩で五万円といってきた。実篤の心積もりの三十倍である。ほとんど最後の希望として、小丸川上流に向かった。すでに離京五十日、「村」の土地の選定は

十一月十四日までに、という実篤が決めた期限は迫っていた。実篤が愛着し尊敬するオーギュスト・ロダンの誕生日である。ロダンに手紙を書き、浮世絵を送ったところ、自作デッサンを返礼として送ってくれた。それは実篤にとつて最上の喜びであった。

人里の木城から山に分け入って六キロ余、尾鈴山の峠にたどり着いた。眼下を流れる小丸川は深い青色である。石河内という小集落の対岸、川の屈曲部に半島状にせり出した台地が見えた。かつて戦国時代に大友氏が島津氏の侵攻に備えるために砦を築いたことから「城」と呼ばれた三段をなす台地で、一部が畑地になっているが、あとは樹木ばかりだ。

実篤一行を案内してきた元村長の老人が、「私が申し上げた土地はあそこなんじゃが」と指さすと、実篤は対岸を見つめたまま、力強く「ここだ」といった。峠の高み

から見た城は、まさに「約束の地」であった。

十一月十四日、値段の折合いがつき、木城の郵便局から東京の本部と各地の支部に「建設地決定」の電報が打たれたのは第一次世界大戦休戦四日後、十一月十五日であった。

実篤を「村」建設へと向かわせた力の背後には「大正」の時代精神、「社会改造」への衝動があった。ヨーロッパ留学した京都帝国大学の河上肇は、その調査と見聞をもとに『貧乏物語』『第二貧乏物語』を書いた。ヨーロッパにおける貧乏人の多さに一驚した河上は、資本主義の限界を見たと確信したのである。維新後わずか五十年というのに、このような見方は多くの日本人に説得力を持ち、「改造」は流行語となった。雑誌「改造」の創刊も、「コミュニケーション」建設志向もそのあらわれであった。

「新しき村」の村民は対岸の石河内集落に家を借りて合宿し、毎日対岸の城に小舟で通って開拓作業にいそしむことになった。当初の村民二十人のうち、子どもふたり

と実篤の妻・房子は労働力に数えられなかった。信じられないほどの粗食と重労働に耐えた彼らだが、やがて内紛が生じた。

労働と芸術の両立が眼目というもの、その配分は個人に任せられ、労働の不均衡に不満が生じた。また、もつとも若い村民、日守新一を「寵愛」する房子のふるまいも不穏な空気の源であった。後年、映画俳優となり小津安二郎作品に多く出演する日守新一が村を去ったあとも房子の行跡はおさまらず、やがて別の若い村民と宮崎市で同居する。

実篤は間もなく、「理想主義」は「現実の経済」に敵しいと思いついた。峠から見下ろせば「約束の地」であるが、小丸川の清流に近いにもかかわらず、台地ゆえに農業に必須の水がなかった。農民がよい農地を手放すわけではないのである。のち、はるか上流で分水して「大水路」を難工事の末に建設するのだが、いくつかの水道橋を経由した水路は、大量の漏水に苦しんだ。

村民の入れ替わりは少なくなかったが、それでも一九三八（昭和

十三)年に電源開発のためのダムが建設されて村の一部が水没することに決まるまで、村民の努力はつづけられ、村の主体が埼玉県毛呂山に移ったのちも「西の村」と

して存続した。実篤が百年前に見た夢は死なず、霧消もしなかったのである。

(世田谷区祖師谷1丁目)

## ルウバーンCCCへゆいまーる

### 共同小社会を広げる

岡本健次郎

日本人は物質生活だけを求めて半世紀、今やマンシヨンのローンクのように孤独で、やせ細っている。カネを求めれば愛は減じる。友愛の心は荒野の豆腐のように四角く干からびた。文芸も音楽も絵画も、心躍る新しい精神はほぼ壊滅したままだ。

自由、平等、博愛のスローガンが西欧的近代の旗だとすれば、日本の近代は明治維新後の富国強兵ではなく、白樺派の人間主義がひとつの灯だったと思う。もつとも、弱い善意だけだったかもしれない。

愛、友愛は呼びかけだけでは成立しない。それは多少とも自己犠牲の上に成り立つが、少しの損も

許容できない人たちの群れが、さ迷っている。

新しい村は場所(トポス)を作ったが、そこからの広がりはない。社会との繋がりが(ゆいまーる)が、糸のように細かった。やはり経済社会の絆(ゆいまーる)がなければ閉鎖集団になり、内外の交流が困難になる。日々新しき村が、新しい繋がりを形成していくのかどうか、期待したいが未だ見えない。友愛、連帯(ゆいまーる)がなければ、団体の未来も枯れ木の林みたになるのだろう。

テーマコミュニティは、全国にたくさん誕生している。一時はUIターン、リゾート列島、テーマパーク、一村一品、村興しなど

現れては消えた。もつと昔は、工場誘致や道路港湾ダム、田圃の構造改善などの大型公共工事が地方の基幹産業化した。農業とその組織は海外に圧されて国民の食生活を支える主役から去って久しい。都会の中では子ども食堂や介護団体の活動など、多数の生活運動や生協等が変遷してきた。部分的には共同体だが、助け合いを保険に替えたり、カネに換えたり、組織化を進めるほどに制度化され大衆の活力が低下した。生きのいい団体も多くは連帯を求めて四苦八苦している。

わたしは、自然に帰れという意味も含めた生活基盤の革新を渴望したい。ちょうど百年前の新しき村とは違い、テーマコミュニティは現にあちこちに存在している。自然に帰るテーマを今日的にルウバーン(ルーラル、ウーマン、アーバン)と呼んで(ゆいまーる)協働できれば、その生活はその集団に拓ける。ルウバーン・コミュニティC×Cという構想は、ひとつ(ゆいまーる)すれば、ひとつがふたつに広がる。多くの人が望めば。それは本流になる。

脱線して恐縮だが、(ゆいまーる)は元々沖縄言葉。(ゆい)は一人ではできないこと、(ゆいまーる)は助け合う共同小社会だ。それが誕生したのは、古来の経緯によると思う。琉球人はポリネシアやズンダランドからやって来た人々で、アイヌと共に日本中に広がって、国連では先住民族と認定している。朝鮮半島から渡来してきた弥生民族と交流したのが日本人。この混血、多様性によってこそ、日本は成立した。戦わないで、分け合い助け合い(ゆいまーる)して平和を築いた。

現日本人が、石器、縄文時代の知恵に学びルウバーンCCC(ゆいまーる)を広げられれば、AI時代に生き残ることができると思う。(調布市民、昔、雑誌「ゆいまーる」編集者)



# コミュニティからの「新しき村」(実篤コミュニティ)への回帰を

日本地域開発センター 北川泰三

「コミュニティ」という言葉は、現在は、世の中に溢れており、いろいろな場面で使われています。しかし元来は、共同体あるいは地域社会という意味に用いられていました。近代化の過程で、一定の集団を指す場合に使用されることが多くなりました。テーマ・コミュニティと言われ、様々な対象に対してコミュニティと呼ぶようになり、あなたに住んでいる自治会・町内会に対して住民生活を支える関係性や集団ということで地域コミュニティと呼びます。また高齢者、障害者、幼児を想定した地域での支え合いは、福祉コミュニティと呼んでいます。

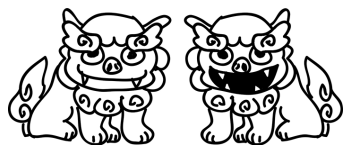
さらに、情報社会の進展に伴って、一定のネットワークあるいはつながりのある人たちに對しても使われるようになりました。例えば、LINEがつながった友達同志をネットコミュニティとも呼びます。現代社会では、これが多層的に形成されていると言うこともできます。このように何らかのテーマがある一定の広がりのあるつながりあるいは集団をコミュニティと、一般の人は呼んでいます。さて、私は、学生の頃始めた沖繩研究がきっかけで、その後も仕事で何かあると沖繩に出かけていくことがあります。沖繩のコミュニティは、共同体のような互助精神が発揮されていると思います。沖繩から東京圏に出て生活を始めると、文化ギャップや経済格差により出身者にとっては何かと苦労が多く、お互いを支えあっているための擬似共同体と同じ郷里の人たちと一定の地域に集まって、都会で生き抜いてきました。「郷友会」と呼んで、郷里を同じくする人たちが助け合って生きていくための集団です。東京の周辺では、横浜鶴見区や川崎川崎区には、生活経済拠点を作っていました。大阪にもそうした拠点が形成されて

いました。こうした集まりは、沖繩民族という観点からは、エスニックコミュニティという呼び方もできます。沖繩独特の食文化や平和を愛する精神に共鳴して、各地に沖繩ショップができています。仙川にもあるといいなと思います。こうしたつながりも沖繩コミュニティでしょう。

仙川というと、緑ヶ丘の住民であった故奥田道大先生を思い出します。当時、立教大学教授で私の財団の理事でもありました。1988年、板橋区から調査を依頼されて、コミュニティ白書を作成しました。その時に、助言をいただきました。先生のお宅までお邪魔しました。先生は、都市社会学者であり、都市コミュニティの理論的研究をされていました。板橋区は、全戸参加の町内会中心の硬い体制から、地域に関心をもつ住民が参加しやすい開かれた都市コミュニティへ移行させていこうとしたのが奥田先生でした。板橋区では、白書作成後、コミュニティフォーラムを3年間続け、その結果、新しい人材が発掘され、旧来の体制が変わってきたと感じました。

武者小路実篤が、目指した「新しき村」は、志(正直な生き方)を共有する人たちの集まりであり、それが実篤コミュニティだと思えます(現在の安倍政権とは真逆の存在とも言えるでしょう)。さまざまなコミュニティ論がありますが、地に足のついた、土と繋がるコミュニティが、「新しき村」であり、そのためには、コミュニティへの参加や開かれた交流を担保するための活動運営施設がよりどころになると思います。地域コミュニティには、教育機能をもつ公民館のような施設が欠かせないと思っています。それを中心にした、志のある集まりとして実篤コミュニティの再生を願うところです。

(練馬区三原台)



# 「人生100年時代」の「場」

多摩大学大学院教授 今泉 忠

最近、「AI」や「人生100年時代の生き方 Life Shift」などが話題に上ることが多くなってきました。日本は世界有数の長寿国となり、2017年での女性の平均寿命が87才、男性の平均寿命が81才となっています。一方、病気などに罹らず活動できる「健康寿命」

は女性が75才、男性が72才との統計があります。人生半分として50才からの生活を考えますと、その生活は個人のみにとっても重要ですが、特に活動範囲などを考える

と地元との関連で、特に意味のある年月にする必要があります。「人生100年時代」に70才以上で身体的な面で高いQOL生活をおくるために利用できそうな技術も発展しており、AI関連技術、再生医療技術の活用が考えられます。我々が用語などで疑問に思ったことを検索してくれる技術や曖昧でも用語を補完してくれる技術などは当たり前になってきていま

す。このように検索とか最適化とかの作業には、AI技術を用いるほうが効率的でしょう。まさに、AI時代です。これらは個人毎の身体的なQOLに関与する技術です。巷では、AI関連技術や再生医療技術の変化は人が理解できる変化を越えていき、仕事がなくなる

とか、いや、新しい仕事が生まれるなどの議論があります。確かに30年後には、現在ある仕事の50%がなくなるとの調査結果もあり、まさに新しい産業革命の発生とも言われています。近年の Digitalと言われる情報革命時代、AI時代では、従来の傾向からの予測が難しい周囲環境の変化が起こり、この変化は止めることは難しく、人としても適応するしかありません。

人は社会的な生き物ですので、地域社会での人としての生活はどうなるのという昔からの疑問に関

する新しい解の方向性を考える必要性があるのでないでしょうか。当たり前前のものでないで享受している生活環境は、周りとの共同で創られています。その環境で、人として価値をどのように創出し発信するかがより重要になるのではないのでしょうか。このようなことは、昔から言われ続けていますが、従来の変化からは予測できない激変時代では一層「安心・安全」できる仕組みを用意する必要があります。

いろいろな仕組みが考えられるかと思いますが、個々人で違うわけですので「他の人から人として尊重され、他の人も人として尊重する」という「場」が身近にある

## むのたけじさんという先人

一〇〇歳超の最近の人物としては、日野原重明（一〇五歳）さん、むのたけじさんがおられます。むの氏は、小生にとって、ジャーナリズム、分野におけるお師匠様です。太平洋戦争中の報道に責任を取り、敗戦直後に朝日新聞社を退社し、秋田県横手市に帰郷。

かどうかが従来に増して重要となるのではないのでしょうか。この「場」へのコミットメントは当然、人毎・家族毎に違いますが、自分や家族や友人やコミュニティのありたい姿をイメージし、協働で課題を解決しようとする意図が重要ではないのでしょうか。

このようなことは、効率的なことではなく、目標評価は困難かもしれませんが、この「場」を創り続け、発信することは重要ではないのでしょうか。AI時代、「人生100年時代」では、まさに、「思い立ったのが吉日」であり、このような取り組みは明日からでも取り組めるものだと思います。

（世田谷区上祖師谷）

週刊新聞『たいまつ』を創刊し、一九七八年七八〇号まで刊行。昨年八月に一〇一歳で死去され、ご縁ある方達が今、「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」の創設に精励されています。

（佐美 佑）

## 六道

北畑光男

バスの車内アナウンスが

次は

六道です

というたびに

心のなかでは

停車の

ボタンを

押しているのだ

(ぼくは下車こそしないが

みわたせば

夏草の生茂る空き地

空を突きさす鉄塔

(送電線は北からさきていて

ひっきりなしに行き来する車

道路に面した通りの商店街

低い家並み

くねる農道

ぼくは

これらの道の

どこからかやって来たのではなく

どこからもやって来たのだ

そしてこれからもまた

どこへも行くのだろう

停留所の標識に  
ひっかかった

破れて使いものにならない  
ビニール袋

もう一人のぼくだ

風に吹き晒されて

からっぽの自分がさらに

もう一人のぼくを

探しているようでもあり

何も無い自分を

発見して

喜んでいようでもあり

須が谷庚申前

六道

原

今はもう

ビニール袋こそないが

バス停が招きよせる

ぼくのなかの光景なのだ

(埼玉県上里町七本木)

## 実篤さんと仙川と新しき街づくり

青野友太郎

### ●新しき村II世界をつくる

……彼にとって文学をやるうと思  
つたのと、新しい世界を生み出した  
いと思つたのはほとんど同時である。  
それは彼の双生児である。(『或る  
男』)

『実篤記念』とは、やはりこの二つ、  
彼の創作活動と新しき村運動の両者を記  
念・紹介すべきものといえよう。そのた  
めには、作品の展示という静的な場と、  
新しき村の志の継承という動的な空間が  
求められます。

後者についてみれば、五月第二日曜日  
の『実篤誕生祭』は現在も続けられ、ま  
た11月第二日曜には『新しき村』創立記  
念祭が仙川で催されている。全国から集  
まった人たちが、公園、記念館を散策し  
た後、東部公民館の広間に集まり、村の  
赤飯を食べながら懇談の時をすごす。こ  
れらの場は、現在やや内輪の集まりとな  
っているが、村の写真展、美術展や生活  
展を伴わせて開催したり、公演や寸劇を  
加えて、『新しき村運動』の積極的な紹  
介の場となしえるはずだ。

実篤さんを慕う人たちは、村の内外会  
員や友の会会員だけでなく、全国にわた  
り、各分野に多数おられる。また、小学  
館版の全集刊行とともに、日々新たに関

心ある人たちが生まれています。日向や  
埼玉の村という根拠地だけでなく、講演  
会や例会には、仙川へ調布辺りは地の利  
を得ているといえます。実篤公園・記念  
館は一調布市(民)のものでなく、有志  
の者にとって、『共有のもの』として開  
かれ続けていく場であることを十二分に  
心しなくては、いけないと思います。

### ●志の継承としての記念事業を

昨年11月に『新しき村の百年(患者の  
園)の真実』(前田達夫著)が刊行された。  
この好著のインパクトの中で、「日々新  
しき村の会」が発足し、次の二〇〇年へ  
の挑戦が始まっています。

さて、百周年となる本年、調布市や新  
しき村の記念事業とともに、『実篤と新  
しき村、そして街』をテーマに、規模は  
小さくても、ピリっとした全国レベルの  
シンポジウムを企画いたします。大変革  
期のいま、全国のむらやまちで、『新し  
い社会づくり』の哲学やヘソが求められ  
ているといえましよう。『志の継承』と  
いう視点から、とにかく現実社会と相渉  
り、実篤さんの哲学・社会運動面にも大  
胆な光をあてたイベントにしたいと念じ  
ております。

有志の方々のご教示。ご支援とご参画  
をお願いする次第です。

 <p>医薬品・漢方相談・健康アドバイザー</p> <h2>仙川薬局</h2> <p>仙川町 1-11-11 (仙川駅前) TEL 03-3308-5355</p>	<p>らぁめん つげめん</p> <h1>ばかたれ</h1> <p>SONGAWA RAMEN BAKATARE</p> <p>仙川町 1-21-24 ☎ 03-6321-3977</p>
<p>SINCE1982</p> <h2>西洋料理の店</h2> <h3>ぱんぷきん</h3> <p>TEL &amp; FAX 03-3326-2944</p>	 <h2>前田整骨院</h2> <p>各種保険取扱い 自賠責保険</p> <p>午前 9:00~12:30 仙川町 1-19-23 午後 15:00~20:00 休診日: 日曜・祝日</p>
 <p>スイス堂</p> <p>03-3308-0001</p>	 <h2>広味坊 飯点飯店</h2> <p>せんがわ劇場むかい</p> <p>☎ 03-6909-0014 仙川町 1-25-4 シティハウス仙川 1F</p>
<p>おかげさまで創業52周年</p> <p>煮物 焼物 揚げ物 やきとり 手作り総菜</p> <h2>錦 仙</h2> <p>仙川商店街 ☎3326-4455</p>	<p>なつかしい東京ラーメンの味わい</p> <p>支那そば</p> <h2>めだ屋</h2> <p>仙川アベニュー ☎3307-0709</p>
<p>そば処</p> <h2>平野屋</h2> <p>桐朋学園前 ☎3308-0115</p>	<h1>LARGO</h1> <p>SENGAWA</p> <p>仙川アヴェニュー北プラザ 106 03-5969-9996</p>
<h2>cafe Anmar</h2> <p>11:30~17:00 070-5553-5366 定休日: 日、月、祝日 桐朋学園大学正門前すぐ</p>	<p>患者様の症状だけでなく、原因を深く追求する整骨院</p> <h2>けいじゅ整骨院</h2> <p>調布市若葉町2-10-5 Web: <a href="http://www.k-ju.com">http://www.k-ju.com</a> 電話: 03-3300-8773 Mail: <a href="mailto:k-ju@mail.goo.ne.jp">k-ju@mail.goo.ne.jp</a></p>
<p>居酒屋 創業平成元年</p> <h2>菜遊記</h2> <p>神代書店北東 03-3305-9559</p>	<p>あなたの街の電気店</p> <h2>ヤナバ電機商会</h2> <p>若葉町 2-24-19 ☎3307-3182</p>
 <p>レストラン・cozy</p> <p>ランチ 11:30~14:00 (L.O.14:00) カフェ 14:00~17:00 (L.O.16:30) ディナー 18:30~23:00 (L.O.22:00)</p> <p>182-0002 調布市仙川町 1-8-8 Tel.03-3300-6588 Fax.03-3300-6589 mail cozy@yoshihashi.net</p>	<p>『(とりあえず)にひさん』</p> <p>広島風お好み焼</p>  <p>MAYATOKU</p> <p>11:30~23:30 月曜定休 ☎ 3326-3455</p>
 <p>自家焙煎コーヒー Coffee Roaster</p> <h2>Café Cajon</h2> <p>デザート持ち込み OK</p> <p>テイクアウトできます 11:00~19:30 火曜定休</p>	<p>やきとり・広島風お好み焼</p> <h2>風 船</h2> <p>若葉町2丁目バス停至誠会病院入口 3326-5617</p>

# 日向新しき村より

松田省吾

一九三八（昭和十三）年、新しき村の土地は、秋、宮崎県宮ダム工事着工により『村の最良地』である田畑を含む肥沃地一町五反が水没することになった。村にとつては開村二十年経ち、ようやく稲・麦・果樹の栽培も地について村内人数も二十人余に落ち着いてきた頃であった。

新しき村（日向の村）が重大な障害を受けざるをえなかった、その時点で武者小路実篤師の凄さをあらためて眼の当たりにしたということを生前の野井十さんに聴かされたことがある。また松本述之さんの文中にも同様の所感がある。先生の村に対する熱情と希望の強さには心から驚かされた。日常に鍛えられた力がいざというときには、その全面目を發揮する実例を目のあたりに見せられ、一人の巨人がここに生きているのを見たと思った。

埼玉の村内全員として八年、日向の村へ移住して四十二年。及ばずながら村内生活をさせていた。だいて、僕の心の内では埼玉と日向は一体として新しき村としての人生を感じている。日向の村は伝馬船よりもっと小さな渡し船のよいうな小舟を漕いでいるとすれば、埼玉の村は皆で帆を張り舵も備えた船だ。日向の村は自転車だとすれば、埼玉の村は乗り合いバスのようなものだと思ったりもした。そのどちらも体験できて面白くまたありがたく思っている。

日向の村を初めて訪れたとき、山のけもの路のようなものはあるが舟を漕いでダム（小丸川）を渡るのが早いといった生活環境が新鮮で、それから半年後には自分も移住することになるとは思ってもいなかったが、梅木好彦兄が離村したい旨の手紙をくれた折、どうしてもその心が変わらないのなら、何方もいなければ僕が行きま

しょうと決めたのは、杉山正雄さんと房子さんという先達が居られて、その上、あの舟を漕いで渡る土地という日向の地の立地環境がほくを招いたのだった。

日向の村では村外会員になって下さった方の中から新たに入村し村内会員が現れることを希望しております。

・健康で普通の農耕作業を勉強、勤労できる有機農業の実践を体得してゆきたい方。

・自己の人間力を根気よく培ってゆこうと三年以上は村の生活をしてみようと思つて下さる方。

・畑作（自然野菜栽培）を習い身に付けたい方。

・水田耕作栽培を一から覚え習得してみたい方、これは五年以上位はかかりましょう。

体力と気力は根気によって、しだいに養われてゆきましょう。自己の居住する建物を村で生活

しながら造りあげてゆく経験を積むことができます。木工造作の経験を樂しむことはできます。村外一般地域社会と普通の交流はできます。

村の生活では一日一日一年一年の全てが自分の時間で、誰かに何かに拘束されるということはありません。耕せば自然の摂理を自覚し適応能力を養い、他者と交流するにはそれなりの協調・協力を身につけざるをえません

人から命令はされません。しかし根気のいる環境にはちがいがありませんから、普通一般的な仕事や暮らしではもの足りないような方には向いている環境と思います。

体験・長期滞在をお考えの方は、応じられるかどうかは訪れてくださり、相談してみまさんとわかりませんが。

『新しき村』2018年9月号、10月号より

# ザ・仙川芸術監督

うずめ劇場 山本太郎

あなたは知っていますか。せんがわ劇場で日曜日の朝、月に1度か2度開かれ、もう10年間続いているサンデー・マティネコンサートが誰のアイデアだったか？

知っていますか、仙川にある桐朋学園芸術短期大学に、音楽の他に演劇科があることを？

ドイツ人のペーター・ゲスナーは、2004年から桐朋大学で教鞭をとり始めました。2007年に学長の蜷川幸雄の推薦で、まだ名前のない新しい劇場のオープニングのために、実現可能かつ斬新なプログラムを、六ヶ月間で立ち上げるべく、市の委嘱を受けて芸術監督に就任しました。彼は大いに奮闘しました！劇場にふさわしい建物にするために。

せんがわ劇場の、最初の演劇公演等のプログラムのために、ゲスナーは「せんがわ劇場アンサンブル」を作りました。市民自身が、市の劇場のプロジェクトのために

責任を持って働くことが許されたユニットで、全国的にみても全く新しい形のものでした。ゲスナーは安藤忠雄ストリートの一部として、常にせんがわ劇場のコンセプトを考え、ふたつの新しいフェスティバルを立ち上げました。劇場以外にも会場を設置し、昔からの住民も、新しい安藤忠雄の建物に慣れて親しみを感じてほしい、と考えました。

11年後の今では、仙川は安藤ストリートのような雰囲気になじんできています。たとえば新しいクイーンズ伊勢丹のように。せんがわ劇場も街の生活の一部としてとけ込んでいます。

2018年、ゲスナーが、私たちに気づかせたいものは何でしょうか？ それは、仙川で最も美しい建物の一つです。知っていましたか？ 仙川には素晴らしい東京アートミュージアムがあることを。ちょうど今、ニューヨークで活

躍する、斬新かつ繊細な女性日本画家・椎橋和子の展覧会が開催されています。この芸術の殿堂で初めて素晴らしい演劇公演が行われていることです。いかがですか？ 私たち仙川の芸術監督ゲスナーのアドバイスを聞いて、ミュージアムに行ってみませんか。来年2月まで毎月4回、「フェードル」という有名なフランスの演劇を公演しています。

わくわくしませんか？ 若い男

と年上の女性の恋のように。この美術館を訪ねれば、私たちが生活する街への誇りがたちあがり、あなた自身、あなた自身、この仙川を豊かにする力を添えることになるでしょう。このユニークな空間で、なかなかいい俳優を見ることが出来ます。ペーター・ゲスナーは多分いつもそ

## うずめ劇場第29回公演「フェードル」

古代ギリシャ、アテネの王妃フェードルは、先妻の息子で自分よりもずっと年下のイポリットへ、道ならぬ激しい恋をする。フランスで最も有名な、人間の心を突く古典悲劇の名作。うずめ劇場ならではの、社会における女性の悲劇性を顕在化した新作舞台。

### ■日時

11月9日(金)、10日(土)、23日(土)、24日(日)  
12月7日(金)、8日(土)、21日(土)、22日(日)  
1月13日(日)、14日(月祝)、25日(土)、26日(日)  
2月8日(金)、9日(土)、22日(土)、23日(日)  
各回 19時開演(18:45開場)

### ■会場

東京アートミュージアム 調布市仙川町 1-25-1

### ■チケット

一般 4500円(当日 5000円)、学生 3000円

予約/問合せ [info@uzumenet.com](mailto:info@uzumenet.com)



「フェードル」舞台

こにいて、声をかければ、返事を断らないでしょう。

# 劇団グスタフ

## 「芸術・文化の創造と国際交流拠点」

演出家 抱 晴彦

劇団グスタフは今年で創立二十四年目を迎えます。狛江市に十六年前に専用稽古場兼劇場（天井高7m・収容数最大百三十席）を構え、二カ月に一本というハイペースで公演を行ってきました。それまでは映画、TV、CM等の映像演出を手掛けていましたが、舞台演劇、ライブの面白さを追求したい、いい役者を育てたいの思いから劇団を立ち上げ、創立時から現在まで全ての作品の演出を行ってきました。演出は世界に名だたる日本の名監督の現場を経験



劇団グスタフ舞台

して学びました。映画界は常に本物志向で妥協を許しません。稽古場に映画同様の舞台装置を作り込み、その中で芝居の稽古をし、緻密に作り上げた世界は、まるで映画のような舞台と称される程です。観客は一步劇場に足を踏み入れた瞬間からその世界に引き込まれます。

創立当初は海外の戯曲、当時は日本人に馴染みのない北欧演劇を上演しており、それが縁で六本木のスウェーデン大使館内で二十年間毎年一回、スウェーデン（有名作家ストリンドベリイ）作品を上演し日本と北欧との文化交流に貢献しました。その際、在日スウェーデン大使館公使のラーシュ・バリエ氏より国王（カール・グスタフ）の名を劇団名の冠名に頂き現在に至ります。このグスタフには「栄光あるもの」という意味がこめられ、その名に恥じない作品創作を目指して団員一丸となり日夜

励んできました。

そして数年前からは日本文化、特に伝統芸能の発展と創造に貢献すべく、演劇（時代劇と殺陣）とのコラボ作品創作に力を入れていきます。殺陣師でもある私の目指す殺陣は、華麗で格好が良く効果音で魅せる舞の様なものではなく、命のやり取りを行う真剣勝負です。実際に刃を交え効果音なしの生音で魅せる迫力ある本格殺陣は、誰もが圧倒されます。そこに尺八の生演奏、本物の甲冑、鬘、豪華衣装を身に着けた役者と、能楽師（重要無形文化財保持者）とが能楽堂で共演する時代劇「夢幻能劇」を毎年上演することで、廃れつつある日本の伝統芸能に触れる機会を増やし、新たな伝統の創造と発展に寄与したいと考えています。更に海外の観光客にも本物に触れる事で日本文化の奥深さを感じて貰いたいと考えています。

現在、渡邊宰希、高槻純といった役者を筆頭に若手もメキメキと力をつけ、心と記憶に残る舞台を目指し創作を続けています。是非、狛江のシアターグスタフにご来場ください。

### 公演情報

- 2018年12月13日（金）～16日（日）  
狛江シアターグスタフにて  
笑いと涙の人情劇「笑う門には亀がいる（仮題）」
- 2019年3月22日（金）～24日（日）  
中野梅若能楽学院会館にて。時代劇とのうがくの  
コラボ夢幻能劇第4回  
「見果てぬ空—明智光秀—」  
いずれも脚本 わたなべ佳英 演出 抱晴彦  
TEL / FAX 03-5497-6969  
<http://www.gustaf-art.com/>



抱晴彦氏

# 仙川に住んで

## PTAから市長選まで

前橋 弘子



連れ合いと一男二女の子どもと一家五人で緑ヶ丘に移り住んだのは一九七四年（昭和四九年）でした。いま八四歳なので人生の半分以上を仙川で過ごしたことになります。現在は「老老介護」の身ですから機会を減らしましたが、この間に一主婦の立場から随分、地域社会の活動に関わってきました。

### 初めはPTA活動

出発点は下の娘が二年生で緑ヶ

丘小学校に転校したときのPTA活動でした。以前、住んだ中野区でもPTA大好きで役員をしていましたし、だれかがやらなければ、ということでも広報部長や会長などお引き受けしたのです。一九七七年に開校した第八中（仙川二丁目）のPTAづくりにも携わりました。荒れる生徒がいて先生が授業放棄までする時代で「親たちが黙っていてもダメよ」と父母を説得したのです。八中にPTAが出来て七中、六中などにも広がりました。こんな活動や市のPTA連合会などを通じて人との出会いが増え、社会への目が開かれた気がします。

### 教委準公選めざす

中野区で住民運動が実って一九七八年に実現した教育委員準公選制を全国に広げようという運動を始めたのも、そうしたことからでした。地方自治体の首長が任命する教育委員を住民が選んだ候

補者の中から決めてもらおうという運動で、議会議員や首長と同様子どもたちの教育のことを決める委員を住民が選ぶのは当然、という考え方だったのです。

それを調布でも、「教育委員を自分たちで選ぶ会」という市民組織をつくり運動を始めました。日教組にも頼みに行きました。一九八四（昭和五九）年秋には市役所の会議室で全国集会が開かれました。北海道から沖縄まで父母先生、議員らが二五〇人も集まって、その場で全国連絡会ができ調布市に事務局、私が事務局長の推されました。

「準公選だより」を発行したり、横浜、高槻、京都や前橋で集会を重ねたりしたけれど結局、準公選制は中野区以外には広がらず、中野区でも選挙は四回だけで一九九五年（平成七年）に廃止されました。なにしろ文部省が絶対反対だし親たちも自分の子について目先のことだけを考えてみて、これから。残念だけど考えてみて、これまで私が一番、力を入れた活動でした。

### 担がれて市長選へ

そんなこともあって調布市長選候補にも担ぎ出されたのです。一九九〇（平成二）年、吉尾勝任市長（一九八六年から二〇〇二年まで四期）の再選のときでした。「吉尾さんを代えなければダメ」という人たちが四〇人ほど集まった。「だれか候補はいないの？」となったけれど現職の二期目が相手だし、だれも出てこない。結局、八人の世話人の中から選挙で私にお鉢が回って来ちゃった。

当時、夫が入院中で家庭的には大変なときでしたけれど病院の先生にも背中を押されて、無所属の旧社会、共産党推薦で生まれて初めて街頭に立ってマイクを握りました。土井たか子さんたちと選挙カーの上から「市民のための調布をつくろう」と訴えたんです。でも三万五千対二万五千の一万票差で敗れた。負けは覚悟していました。

### いま地域の人々と

その後も、いろいろ関わりましたけれど、いまは地域で三十三年間続く「お茶のみクラブ」です。

一人暮らしだった母を緑ヶ丘に引き取ったとき、出来たばかりの地域福祉センターで、友だちと「お茶飲みながらおしゃべりする会ができるといいわね」と立ち話したのがきっかけで知り合いに声をかけ始めた親睦会です。

月二回昼どき、センターの一室に年齢、性別を問わず二〇人ぐらいで、おしゃべりしたり歌ったり。「お茶のみだより」を月一回、B4判1〜2頁で出して330号になりました。いま社会福祉協議会が助成して全市に百十もの「ひだまりサロン」がありますが、その走りだったわけです。長く続いてきたのは共感する仲間のおかげで、これからもきつと、たくさんのお会いと別れがあるでしょう。

仙川に暮らして四〇年余り、周りに若い人が増え町の佇まいも変わったけれど、それは時代の流れでしょう。そんな中で、いま思えば私も随分、向こう見ずなことをしてきました。なにしろ福岡は小倉の生まれなものですから。

(仙川二丁目)  
〈聞き書き／村野 担〉

## サンディエゴでの体験をエキスにして

ジュン・イナガワ

僕は12歳の時に父親の転勤でアメリカのサンディエゴに住むことになり、当初は、アメリカで生活するのがとても苦でした。しかし、サンディエゴの中学・高校に入り、多くの国籍を持つ仲間たちとの交流を持つ内で、日本にいただけでは経験できないことを学び、又、先生をはじめフレンドリーな沢山の仲間ができて、アメリカが本当に好きになりました。そして昨年6月に学校を卒業しました。

僕は5歳ぐらいの時からアニメ・キャラクターとか、絵を描くことが好きで、小学校ではポケモンとかクラスメイトの絵を描き、中学生になってから漫画家になるうと思、それから真剣に絵に取り組むようになりました。

アメリカにいた時にも、絵の關係で多くの人との接点を持ちましたが、漫画、アニメにおいては日本が世界をリードしていると感じ、昨年7月に仙川に帰って来ました。

昨年アメリカにいた時に偶然出会った友達が、ストーリー・カルチャーとかそれに関連するスケート・グラフィティ、音楽とか絵に關係しないものに触れてみたらどうかとアドバイスをくれた。これこそ今まで自分のカルチャーの要素を融合出来ないかと思立って試してみた結果、SNSなどの反響がすごかったです。

〓オタクが世界を変える〓

アニメオタクで、アニメを中心にして喜怒哀楽とか人生を考える人もいるし、漫画やアニメから学べることは沢山あると思う。オタクでも、アニメだけでなく、ファッション、アイドルであるとか、一つのことには没頭して、好きなことをする人は皆オタクだと思っています。オタクという言葉に偏見を持たれている人も多いようですが、今後、アニメとヒップホップやストーリースタイルを混ぜて、今まであったオタクというカルチ

ヤーを変えていきたいと思っています。

今年は、ディーゼル、アンダーカバー、ナイロンの会社のファッション、雑誌、ライブ等の仕事をさせてもらっています。目標は、漫画家、アニメ作品を創作することです。今後とも宜しくお願い致します。

(仙川二丁目)



<p>創業67年 <b>新装オープン!!</b></p> <p>トケイ・メガネ <b>ナカ工</b></p> <p>仙川商店街 仙川町 1-11-17 ☎3300-0667</p>	 <p>ティアンド shop 作家の服と小物</p>
<p>ネイルサロン <b>Ron's nail</b></p> <p>〒182-0002 東京都調布市仙川町 1-16-18 杉田第一ビル 201 Tel 03-6279-6454 Time 10:00~21:00 土日祝 10:00~20:00 定休日不定休</p>	<p>手芸・毛糸・木綿生地 創業 62 年</p> <p>楽しい夢 いっぱいのづくり</p> <p><b>な・な・なかや</b></p> <p>桐朋学園近く ☎ 3300-6805</p>
<p>マカロンとフランス菓子のお店</p> <p>gâteaux maison <b>Jarrive</b> ガトーメゾン ジャリーヴ</p> <p>調布市若葉町 1-31-31 ☎03-3300-6005 月・火 定休日 水~金 11:00-17:00 土・日 10:00-15:00</p>	<p>ごはん Cafe</p> <p><b>11:30~15:00</b> <b>17:00~23:00</b></p> <p><b>空彩</b> SORAIRO 若葉町 2-25-15 ラ・ヴィオーラ 102</p>
<p>画材・額縁</p> <p><b>mottet</b></p> <p>実篤公園通り入り口 ☎ 3300-8287</p>	<p>HIGH QUALITY in GOOD TIME</p> <p><b>sunrise photo house</b></p> <p>株式会社サンライズ現像所 東京都調布市仙川1-19 telephone.03-3300-6808</p>
<p>New <b>OPEN</b> 美容室セラフ <b>Seraph</b> beauty creator</p> <p>仙川町 1-12-51 フジビル 2F Tel.03-3326-1157</p>	<p>新しい絵本から戦前の古書・紙資料まで</p> <p><b>文紀堂書店</b></p> <p>古いモノ大切にします 0120-540-446 仙川かおる幼稚園隣</p>
<p>仙川の呉服屋さん 着付もどうぞ</p> <p><b>きものさろん服部</b></p> <p>桐朋学園正面通り ☎3309-6348</p>	<p><b>コトリボイス</b> KOTORIVOICE</p> <p>声優・ナレーション・イベント司会</p> <p>三軒茶屋から引っ越して来ました。仙川の皆さん、何卒よろしくお願いします。</p>
<p><b>Elégance boutique</b></p> <p><b>ehime</b> CHOFU SENGAWA 1-12-12 TEL.3326-2476</p>	<p>サンミモレ♡♡イナガワ <b>仙川サロン</b></p> <p>貸しスペース(ピアノあり)</p> <p>仙川町 1-12-13 イナガワビル B1 Tel / Fax 3305-7870</p>
<p><b>FAVORINICO CLOTHES &amp; BAGS</b></p> <p>仙川商店街駐車場からすぐ 10:00-18:00 / 日・祝休 03-3305-0838 (株) たけ屋</p> <p>ブログは毎日更新中!! <b>ファボリニコ</b> 検索</p>	<p>広島風のお好み焼きは作らない!</p> <p><b>みっちゃん 仙川本店</b></p> <p>本社：広島県三原市須波ハイツ 3-7-18 緑ヶ丘 1-10-19 弁天橋北側 Tel. 6382-9313</p>
<p>あなたの手で靴作りませんか</p> <p><b>関口靴工房</b> ワークショップスペース</p> <p><a href="http://sekiguchikutu.com">http://sekiguchikutu.com</a> ☎ 03-6750-5592</p>	<p><b>AOSAN</b></p>

## 坂の名称の訂正と知識

前号口絵写真の説明に誤植がありました。「六所坂の景観変貌」を「六別坂の景観変貌」に訂正します。若葉小学校と図書館若葉分館の間のこの坂は、別名「本村（ほんむら）坂」。調布市教育委員会発行『調布の古道・坂道・水路・橋』は後者を採っていて、「本村」は江戸時代の大地主の姓に由来するとしています。

なお、旧・金子村の甲州街道より南側（現在の西つつじヶ丘）に本村という小字（こあざ）があり、近くの入間川には「本村橋」があります。坂の名称もこれに関係するかもしれませんが。「六別（ろくべつ）」の方は各種資料に当たっても語源らしき語が見つかりません。ご存知の方、ぜひご教示ください。若葉町の国分寺崖線にある坂道で名が知られるものを地図に示しました。「大坂」は狛江方面と江戸市中を結ぶ古道にあり、野菜などを載せた荷車が盛んに往来。坂上には庚申（こうしん）塔の祠（ほこら）があります。若葉小正門前につながる「鉄砲坂」



は、豪雨時に雨水が鉄砲水のように流れ下るから、「熊谷坂」は近くの住民の姓に因むとい

います。  
(大村哲夫)

### 好評 本のご案内

『ヴォイス・ケア・ブック 声を使うすべての人のために』

著者 ガーフィールド・デイヴィス アンソニー・F・ヤーン

監訳 竹田数章（仙川耳鼻咽喉科 院長）

A5判 228ページ

定価 3,456円（本体 3,200円）

発行 音楽之友社 TEL.03-3235-2151

ISBN 978-4-276-14264-0

- Part I 歌手・俳優にとっての声
- Part II 歌手が抱える声の問題と発生のメカニズム・生理
- Part III 声のプロが抱える病気以外の問題
- Part IV ノドに問題が生じた場合－診察・投薬・手術
- Part V 良い歌をうたうには
- Part VI 声にかかわる病気のみとめ

## ボーイスカウト募集〈調布第9団〉

対象：小学校3年生～大学生

内容：野外活動を通しての健全育成。境内、地域での奉仕活動等

活動日：月2回

詳細はお問い合わせ下さい。

明西寺スカウト育成会 調布市若葉町1-43-5 TEL. 03-3300-1901 FAX. 03-3300-2681

## お一人、お一人のニーズ・相談事へのサポート

### 出版部

企画・編集・制作・印刷

- 個人史 ○サークル史
- 社史 ○広告

### アレコレ相談室

信頼の専門家を紹介

- 進学 ○就活
- 不動産 ○相続

せんがわ21サービス TEL&FAX 03-3326-2707

 <p>調布市仙川町1-12-12 Tel&amp;Fax03-3307-5649</p>	 <p>アートスペース &amp; インドの手仕事ギャラリー <b>ツオモリリ文庫</b> アートと本に囲まれ、お茶やお菓子も楽しめます。 11:00~18:00 不定休 ☎03-6338-1469 仙川町 1-25-4 せんがわ劇場向かい tsomoriribunko.com</p>
 <p>四季折々の和菓子 <b>餡の輪</b> 桐朋学園正門通り tel/fax 03-6875-2705</p>	<p>仙川駅より徒歩3分 掘り出し物多数あり お買取りもいたします <b>石本書店</b> <small>古書 古本</small> 仙川町 1-15-5 ☎03-3307-7261</p>
<p>gallery &amp; cafe <b>niwa-coya</b> 東京都調布市若葉町 1-28-28 TEL: 03-6322-1848</p> 	<p>ランチ 11:30~13:30 ディナー 17:30~22:30 仙川商店街南側 笹本ビル 1F Tel.03-3307-7033 / 水曜定休 <a href="http://www.sasara-sasara.com">http://www.sasara-sasara.com</a></p>  <p>名代 <b>2F</b> トンカツ <b>ささ本</b> 03-3300-2661 11:30 ~ 14:00 18:00 ~ 21:00 水曜定休</p>
<p>季節のおまかせ蒔 月・火定休 11時半~13時半・18時~20時 <b>(03)5314-9095</b> <a href="http://www.maki-sengawa.com">www.maki-sengawa.com</a></p> 	<p>CAFE &amp; BAR <b>TINY CAFE</b> 日々の食事とくつろぎの場所 店内の壁を使って展示できます。Tel: 3305-0400</p> 
<p>BOUTIQUE <b>左岸 SAGAN</b> 日本料理 出張専門 <b>さがん</b> ☎3307-8448</p>	 <p>自然食糧品と地方の本 ☎03-5315-3778 お弁当(778円)予約承ります</p>



旨い酒と料理でおもてなし♪



仙川町 1-12-3 武蔵野ビル 1F  
Tel.03-3326-5880



世田谷区南烏山 6-6-24  
サンマルシェビル 1F  
Tel.03-3307-3622

おかげさまで仙川店は19周年

**QUEEN'S SETAN**

TEL 03-5840-6231  
<http://www.queens.jp/shops/senkawa.html>

**大塚矯正歯科医院**

歯並びに関するお問い合わせ・ご予約は  
お電話にてお願いいたします



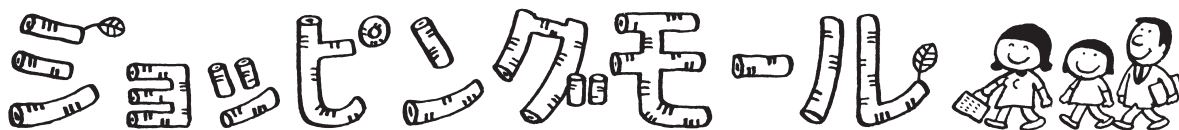
**Ohtsuka Orthodontic Office**  
TEL 3308-0707  
休診日 日・祭・金曜日  
診療時間  
10:00~13:00  
15:00~18:30

**青香園**

お茶・のり専門店

ミスタードーナツ前 TEL 3300-8737

# Sengawa



## ▼美容室セラフ

はじめまして！ 理容室3代目の藤戸健太郎です。美容室を開くため、銀座で修行し、この10月に仙川に戻ってきました。

お客様にゆっくりしていただくため、個室タイプのマンツーマンサロンです。髪や頭皮のお悩みなど、何でも相談ください。最高のおもてなしをいたします。

☎02260・1157

<http://seraph-hair.com/>

## ▼レストラン cozy 賛

桐朋音大前にオープンして一年七ヶ月。千歳烏山で行きつけのイタリアンレストランのシェフが仙川へ。

ランチとともに、誕生会・同窓会、打ち上げのパーティなどいろんなスペースとして、とても利用しやすいレストランです。

☎03000・9588

## ▼関口靴工房の教室

2003年より、靴作り教室・学校、またオーダー靴制作も行っております。ご興味のある方、ご予約の上お気軽にお越し下さい

☎0606・1974

<http://zendai.jp/>

## ▼セントバーナード 開店

動物に優しいスイスのように、愛犬と一緒に利用できるレストラン。動物愛護活動家のオーナーが切なる思いを込めてデザインした。

犬は家族の一員であるとともに社会の一員です。愛犬のためのメニューも豊富です。

こんなすてきな空間が仙川にあるなんて、なんとも嬉しいこと。

☎5315・5377

<https://saintbernard.tokyo/>

## ▼FELICA

輸入雑貨やオーダーカーテンなど、高級感があって入店しにくい方もおられます。しかし、お手頃な商品も並んでいて、お友達や家族へのバースデープレゼントを選ぶ楽しみがあります。

フェリカファンの一人として、一度、お店をのぞかれることをお勧めいたします。

☎3305・0028

## ▼cafe Annar

桐朋音大前通りにあり、ミニコンサートなどの企画の相談に、店主さんが親切に対応いただけます。

ホッとする「時空」を一緒に作りましょう。

☎070・5553・5366

## ▼前田整骨院(仙川郵便局近く)

先生が穏やかな方で、とても癒やされます。最近、老いも若きも関係なく、疲れている人が多いことに驚きます。

そんな時には、酸素カプセルに入ると、疲れがとれて、帰りの私はルンルンです。

疲れている方は、ご相談を！

☎6659・4286

## ▼せんがわクリスマスマーケット 2018

日時：12月19日～25日11時～20時

会場：ギャラリー&カフェニワコヤ

仙川の町で作られた冬を彩る生活雑貨、焼菓子、この冬に読みたい本や絵本が勢揃いします。クリスマススの贈り物を探しにぜひお立ち寄りください。

出品者：森のテラス、under the fern、キヨミエプロン、0.5gram、椎木彩子、Pink Curl、たまりバネイル、kosaji、cobo、関口善大靴工房、myko、ミン

ンカフェ&ラウンジnico、くけし堂、ゆるのば、megure、宇都伏オロジヨ、多角形、niwa-coya、しまねこや、Jarive、グッドモーニング仙川！プロジェクト、Cafe Annar、文紀堂書

店、石本書店

<https://takakkei.com>

まちニテイ・ショップ・カタログ  
 …… 広告掲載店INDEX ……



●着る	ehime …… 34	支那そば めでた屋 …… 28	●買う	AOSAN …… 34	ワンダフルオレストTERRA …… 表II
きものさろん服部 …… 34	Jarrive …… 34	館の輪 …… 36	omusubiteshima …… 36	●からだ・ころろ	アシッド療術エステHimika …… 11
左岸 …… 36	スイス堂 …… 28	クイーンズ伊勢丹 …… 36	サトウデンキ …… 表III	大塚矯正歯科医院 …… 36	栗山接骨院 …… 11
FASHION a z i …… 表II	膳菜や …… 36	サトウデンキ …… 表III	鈴仙 …… 28	けいじゅ整骨院 …… 28	仙川耳鼻咽喉科 …… 11
ファボリニコ …… 34	セントバーナード …… 表II	セブンイレブン調布仙川店 …… 2	青香園 …… 36	仙川薬局 …… 28	前田整骨院 …… 28
Men'sツカモト …… 11	空彩 …… 34	茶安土 …… 34	トケイ・メガネ ナカエ …… 34	若葉歯科医院 …… 11	●住まう・くるま・くらし
●飾る	TINY CAFE …… 36	なかや …… 34	納々屋 …… 36	後迫測量設計事務所 …… 表III	グローバル設計 …… 表II
美容室セラフ …… 34	とんかつ仙川 …… 2	ヤナバ電機商会 …… 28	ASA仙川 …… 11	住友不動産販売 …… 表II	多摩ポデー整備 …… 11
Ron's Nail …… 34	日本料理 さがん …… 36	●見る・読む・聴く	石本書店 …… 36	FERICA …… 表II	武蔵野開発 …… 表III
一富士 …… 2	日本料理 さがん …… 36	仙川地図研究所 …… 11	サンライズ現像所 …… 34	武蔵野ハウジング …… 表III	渡辺建設 …… 11
Oh! 膳屋 …… 36	ばかたれ …… 28	文紀堂書店 …… 34	神代書店 …… 表II	●備える	芝信用金庫 …… 2
cafe & bar a z i …… 表II	幡乃屋 …… 表III	●習う・創る・遊ぶ	仙川地図研究所 …… 11	調布仙川郵便局 …… 2	
cafe Anmar …… 28	ばんぷきん …… 28	画材モッテ …… 34	文紀堂書店 …… 34		
cafeカホン …… 28	平野屋 …… 28	コトリボイス …… 34	サンモレイナガワ …… 34		
広味坊 …… 28	風船 …… 28	関口靴工房 …… 34	ツオモリリ文庫 …… 36		
こしじ …… 2	蒔 …… 36	森のテラス …… 11	わかば製額 …… 11		
東風庵 (こちあん) …… 表II	まや徳 …… 28				
菜遊記 …… 28	萬来軒 …… 2				
ささら …… 36	みっちゃん仙川本店 …… 34				
三進 …… 表II	LARGO …… 28				
汐まる …… 11	レストランcozy …… 28				

## ●編集制作スタッフ●

表紙写真提供：せんがわ劇場  
表紙タイトル（創刊号より）：山岡義典  
口絵写真：日向新しき村  
グラビア写真：新しき村（毛呂山）  
編集デザイン・制作：山下琢  
題字・カット：こやまきょうへい 横山圭  
データ入力：山下琢 市丸彩乃  
地図制作：小森葵・横山圭（仙川地図研究所）  
広告営業・取材：井山順子 佐美佑  
印刷／製本：竹中求  
配布：子吉信成、桑原昇、竹中求  
HP：大菊健太

## ●編集協力●

樋口篤郎（鎌倉市七里が丘東）、西和浩（宮崎県木城町石河内）、川口信子（仙川町2）、金子勝巳（せんがわ劇場）、合田香（桐朋学園音楽部門）、日比野英治（三鷹市中原）、千賀修一（港区虎ノ門）、平野秀治（相模原市上鶴間本町）

## せんがわ 21 人財&amp;カンパ大募集!!

せんがわまちニティ情報センターは、仙川における総合的な情報センターとして、仙川の資料室・広報室・企画室の役割を担い、雑誌社やボランティアバンク、シンクタンクの機能を追求しています。有志のボランティア活動が基本で、チエ・情報とパワー・カネを持ち寄り、センター及び「せんがわ21」の維持運営にあたっています。現在、定期刊行のために取材・編集及び制作スタッフを募集しております。また、資金面でのご支援もいただきながら、新しき街・せんがわづくりのための諸活動を展開していきます。

カンパ誌代とは——コミュニティ共有財への“先読後志”での誌代

カンパ誌代……1冊300円

賛助会員とは——センターの目的と活動に賛同し、維持のために支援してくれる人

賛助会員会費……一口5,000円のカンパ

維持読者とは——『せんがわ21』の刊行維持のために支援してくれる人

維持読者会費……一口1,000円のカンパ

◆お申し込み・会費は郵送あるいは当方へお電話くだされば取りに伺います。なお、下記の口座もご利用ください。当該支店にお申し込みいただければ、手数料はかかりません。

郵便振替：口座番号00150-6-570688

加入者名 せんがわまちニティ情報センター

銀行等：芝信用金庫 仙川支店 普通9031258

みずほ銀行 調布仙川支店 普通1802348

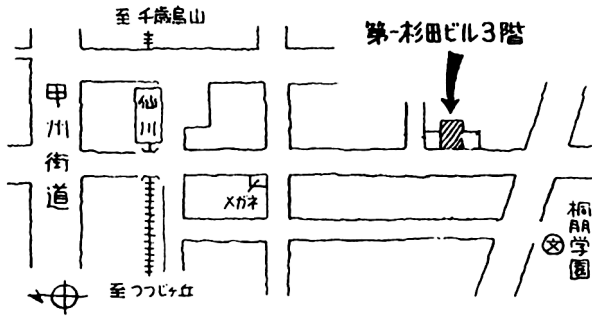
三菱UFJ銀行 仙川支店 普通0077347

口座名 せんがわまちニティ情報センター 青野友太郎

▼仙川まちニティに欲しい「場」

としては、プチホテル／宿泊機能に特化し喫茶室やレストランは商店街の店に。ミニ映画館、小劇場、定席（寄席）、ライブハウス、仙川アーカイブズ（郷土資料室）、安部公房記念館

▼活発な仙川商圏をバックに商店街の店舗のチェンジは多い状況にあったが、近年は空店舗の期間が



長くなっている。二・三代目が経営を辞め、ビルオーナーとしてチェーン店のテナントを入れるケースが増えてきている。

▼しかし、商店街のよさは、個人事業主の人たちの魅力と交歓にある。そこで、一つ「提案」あり。一坪から四坪ぐらいのミニシヨップが20程度入った「仙川バザール（市場）」である。こだわりの一品や手作り品、何よりも味のある店主と出会えるアメ横の仙川版。プロデュースしてみませんか。

『せんがわ21読者の集い』

- 12月15日（土） 13：30～15：30
○1月12日（土） 15：00～17：00

於・本誌編集室
お気軽にご参加下さい。

会計報告

- 賛助会費受領（一口五千円）
小幡邦仁 前田速夫 松尾洋介 岡田勲
諸伏三紀 松尾欣治 若松姫恵子
ムインマド亜由美 千賀修一 前田達夫
松尾正光・裕子 朝山正己 大和田達夫
計25口
○維持読者会費受領（一口千円）
野口順子 島田政治 本庄清志 西尾理
藤原偉雄 宮本良博 ハタキヨシの店
田村富彦 関川夏央 吉澤喜美子
大原繁 北村雅美 谷川利夫 東間紀子

▼今年は、しつかり時間を取って広告取りをしながら、すごい速さで変化していく仙川の町を体感しました。子供・若者・中高年達にやさしい場づくりががんばっておられる方々がいまいます。しかし、多くは日々の暮らしに追われ、自分の生き方に反映することは……。本誌として、この変わりゆく様々な姿を伝えていきたいと思っています。

（井山順子）

▼活字組みにおいては詰め組みは存在し得ない。和文書体は伝統的に正方に納まるよう文字が作られ、縦・横双方の組に対応するため、

- 元木キサ子 森真一郎 上野正治
小田浩良 松本慶子 佐藤靖子 伊藤昭
黒岡誠一 太田信義 平田直之
池田善明 小島真樹 計37口
○カンパ誌代（一冊三百円）
27名95冊 28,500円
○広告収入（第23号）
72件 492,500円
○合計 683,000円
各位のご支援に感謝いたします。

基本形はベタ組みとも言える。もともと、縦組み用かなあるいは制作時点で縦・横いずれの組を想定して作られた書体などにおいてはこれは成立しないだろう。

（山下琢）

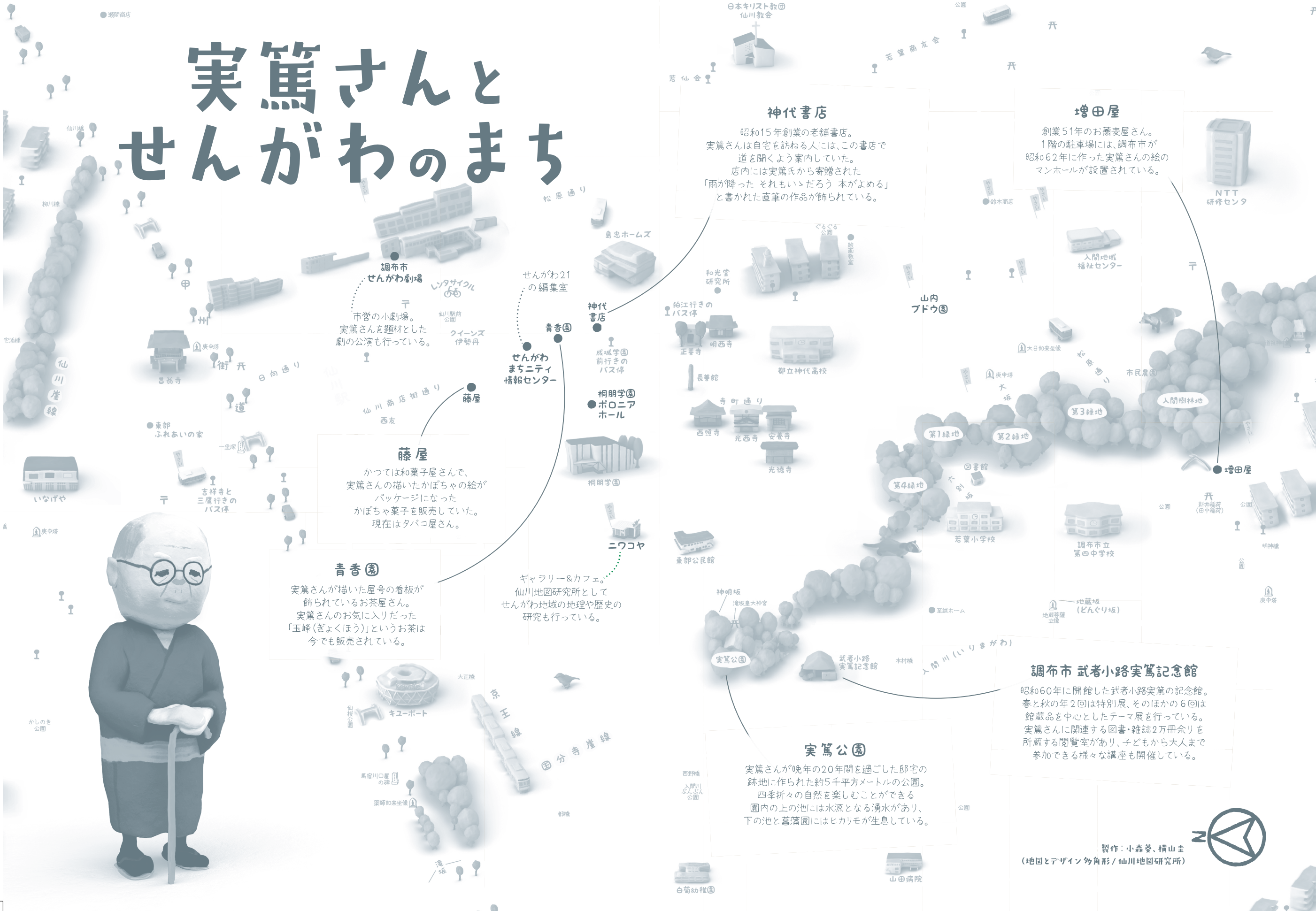
▼最近、自転車にバックミラーを付けました。シニア達や前・後ろに子供を乗せている母父にとつて必須のものだと思います！「仙川自転車王国」という提言をしてきていますが、安心・安全のために、是非とも！

（青野友太郎）

せんがわ21 第24号
『実篤と新しき村』
仙川フォーラム2018
新しき村創設100周年 特集号
発行日・2018年11月15日
頒価・カンパ誌代 300円
発行部数・4000部
編集長・佐美佑
編集発行人・青野友太郎
編集及発行所・
せんがわまちニティ情報センター
東京都調布市仙川町1-16-18
第一杉田ビル3階
〒182-0002
T&F 03-33326-2707
sengawa21.aon@icom.home.ne.jp
http://www.sengawa21.net/
印刷・製本 カロン企画



# 実篤さんと せんがわのまち



**調布市 せんがわ劇場**  
市営の小劇場。実篤さんを題材とした劇の公演も行っている。

**藤屋**  
かつては和菓子屋さんで、実篤さんの描いたかぼちゃの絵がパッケージになったかぼちゃ菓子を販売していた。現在はタバコ屋さん。

**青香園**  
実篤さんが描いた屋号の看板が飾られているお茶屋さん。実篤さんのお気に入りだった「玉峰(ぎょくほう)」というお茶は今でも販売されている。

ギャラリー&カフェ。  
仙川地図研究所としてせんがわ地域の地理や歴史の研究も行っている。

**神代書店**  
昭和15年創業の老舗書店。実篤さんは自宅を訪ねる人には、この書店で道を聞くよう案内していた。店内には実篤氏から寄贈された「雨が降った それもいゝだろう 本がよめる」と書かれた直筆の作品が飾られている。

**増田屋**  
創業51年のお蕎麦屋さん。1階の駐車場には、調布市が昭和62年に作った実篤さんの絵のマンホールが設置されている。

**調布市 武者小路実篤記念館**  
昭和60年に開館した武者小路実篤の記念館。春と秋の年2回は特別展、そのほかの6回は館蔵品を中心としたテーマ展を行っている。実篤さんに関連する図書・雑誌2万冊余りを所蔵する閲覧室があり、子どもから大人まで参加できる様々な講座も開催している。

**実篤公園**  
実篤さんが晩年の20年間を過ごした邸宅の跡地に作られた約5千平方メートルの公園。四季折々の自然を楽しむことができる園内の上の池には水源となる湧水があり、下の池と菖蒲園にはヒカリモが生息している。



製作：小森葵、横山圭  
(地図とデザイン 多角形 / 仙川地図研究所)

# SENGAWA 21



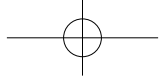
# ANARCHY IN U.S.A.



ジュン・イナガワの世界

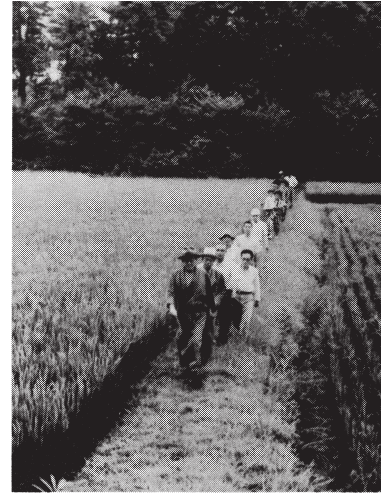


仙川から次世代アーティストのジュン・イナガワ（19歳）が飛翔した。12歳でサンディアゴの中学・高校に入り、多国籍の仲間達との交流を深め、昨年7月に帰国した。在学中、インスタグラムに投稿したイラストが注目され、時代の先端へ。オタクが世界を変える。今年に入り、ディーゼル、アナーカバリ、ナイロン等の企業からオフアーを受け仕事に追われている。漫画家としてアニメ作品を創作することが現在の目標。



# 新しき村

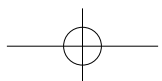
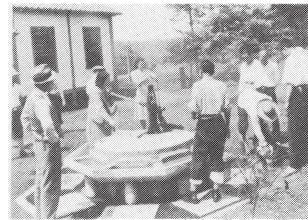
## 毛呂山

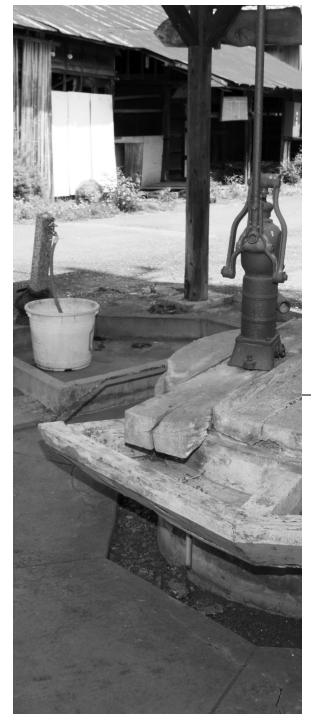


写真提供 新しき村



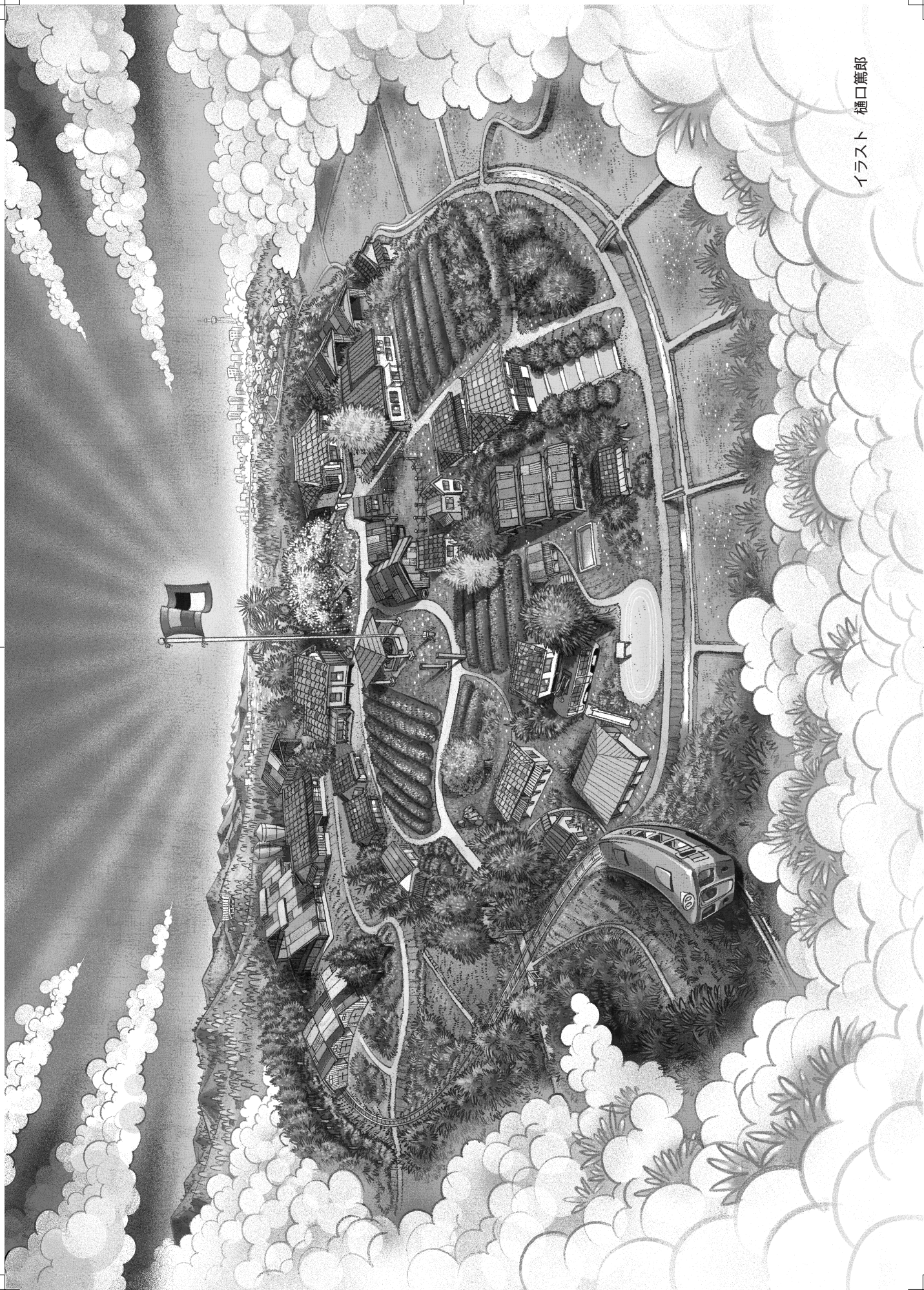
# むかし





いま





祝〈新しき村〉創設 100 周年



海を臨む 2 万坪の 新しき村南伊豆

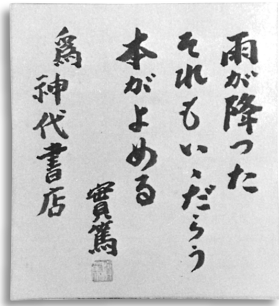


ワンダーフォレスト TERRA

静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂 899  
代表 金子晶子

TEL 0558-62-3141  
FAX 0558-62-3181

e-mail ikoinosato@teraikooi.com  
URL http://teraikoi.com/



書籍と文具

神代書店

桐朋学園前

☎ 3300-5633

住みかえに、安心と安全を。

# 安心と安全を お届けするプロとして。

不動産の売買は、人生で何度も経験することのない重要な取引です。

そのため、多くのお客様が慣れない思いをされることでしょう。

私たちは、そんなあなたに安心と安全をお届けするプロとして、

不動産の専門知識やノウハウはもちろんのこと、「お客様第一」をモットーに  
どんなご相談にも全力でお手伝いさせていただきます。

あなたにご満足いただきたい、その一心で。

不動産のご相談は、私たち住友不動産販売にお任せください。



 **住友不動産販売**

**仙川営業センター**  **0120-994-229**

〒182-0002 東京都調布市仙川町3-9-15 モン・ヴィラージュ仙川1階  
✉ e-sengawa@stepon.co.jp

住友不動産販売株式会社 〒163-0819 東京都新宿区西新宿2-4-1新宿N Sビル19階 ■営業時間:9:30~18:20/定休日:毎週火・水曜日  
■土曜・日曜・祝日も営業しております。(仲介)国土交通大臣免許(12)第2077号(一社)不動産流通経営協会会員(一社)不動産協会会員  
(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

# 新しき村の精神

一全世界の人間が天命を全うし各個人の内にも自教を完全に生長させる事を理想とする  
 一その為には、自己を生かす為には他人の自教を害してはいけない。  
 一その為には自己を正しく生かすようにする。自分の快樂を種々、自由の爲に他人の天命と正し  
 き要求を害してはいけない。  
 一全世界の人間が我等と同一の精神をもち、同一の生活方法をとる事、全世界の人間が同じく義務を果  
 せ、自由を樂しむ正しく生かす此、天命個性もふくむを全うする道を歩くように心がける。  
 一かくの如き生活をよくとするもの、かくの如き生活の可能性を信じ全世界の人間が實行する事を  
 祈るもの、又は切に望むもの、それは新しき村の会員である我等の兄弟姉妹である。  
 一されば教育は國と國との争い、階級と階級の争いをせず、正しき生活にすべての人が  
 入る事、入ろうとする事、それ等の人が本當に協力する事、我等の故する世界が果  
 ることを信じ、又その爲に骨折るものである。

實業家  


## The Spirit of Atarashiki Mura (New Village)

Our ideal is for the people of entire world to fulfill their God-given destiny, and for each individual to fully develop his or her innate self.

Because of this, we, in the process of developing our own selves, must do no harm to the selves of others.

Therefore, we will develop our selves in just and proper way. We, in the pursuit of our own pleasure, happiness or freedom, must not obstruct others in their just demands and in their efforts to achieve their God-given destiny.

We shall endeavor to live our lives so that all the people of the world will have this same spirit and will live this same kind of life; so that all the people of the world will fulfill their duties, enjoy freedom, will be able to live life in a just way, and fulfill their God-given destiny (which includes the development of each person's individuality).

Those who strive to live in this way, those who believe in the possibility of this way of life, those who pray that all the people of the world will put this way of life into practice, those who earnestly hope for this new world are members of Atarashiki Mura. They are our brothers and sisters.

Therefore, we believe that when there are no more wars among nations, when there are no more class straggles, when all people endeavor to live righteously-actually begin to live righteously, when such people really cooperate with each other, then the world we desire will come. And we will spare no effort to bring this kind of world into existence.

translated by W.G.Kloehler

